

# 第2期 越前町総合戦略

令和2年3月



**越前町**  
**ECHIZEN**



# 目 次

1. 総合戦略の趣旨	1
1) 総合戦略策定の背景・目的	1
2) 計画期間	2
3) 戦略の策定・推進・フォローアップ体制	2
4) 総合振興計画との関係性	3
2. まちづくりに対する町民の意識	4
1) 町民意識調査結果	4
2) 中高生意識調査結果	13
3) 町民の意識とまちづくりの方向	17
3. 「ふるさと越前町」創生に向けた基本目標	18
1) 人口の将来展望	18
2) 基本目標と講ずべき施策の方向	19
4. 具体的施策と重要業績評価指標（K P I）	23
1) 「観光立町」の実現による地域資源を活かした 「ふるさと越前町」創生戦略	23
2) 定住人口の確保・交流人口の創出による 「ふるさと越前町」創生戦略	30
3) 結婚・出産・子育ての総合的な施策展開による 「ふるさと越前町」創生戦略	37
4) 安全・安心な生活環境の充実による 「ふるさと越前町」創生戦略	44



# 1 総合戦略の趣旨

## 1) 総合戦略策定の背景・目的

### ● 第二次越前町総合振興計画に基づく施策展開

本町では、2005（平成17）年2月1日の新町制施行にあわせて、2006（平成18）年10月に「第一次越前町総合振興計画」を策定し、2016（平成28）年からは「第二次越前町総合振興計画」により、将来像である「人と技 海土里 織りなす 快適なまち～越前 E-town brand のさらなる躍進～」の実現を目指した種々のまちづくり施策を展開してきた。



### ● 国による「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定

他方、国は2014（平成26）年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、同年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。さらに、2019（令和元）年12月には、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。



### ● 人口減少時代に対応した「ふるさと越前町」の創生へ

このような全国的な背景を踏まえつつ、本町では、2015（平成27）年10月に「越前町人口ビジョン」及び「越前町総合戦略」を策定し、人口減少時代においても、町民がいつまでも誇りをもち、安心して暮らし続けることのできる、魅力と活力ある「ふるさと越前町」の創生に取り組んできた。

そして、国による「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の改訂を踏まえ、本町においても「越前町人口ビジョン」を改訂するとともに、その実現に向け、第2期「越前町総合戦略」として、進行中の「第二次越前町総合振興計画」と合わせ2025（令和7）年度までの6か年の取組の基本目標と講ずべき施策の方向、具体的施策と重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）をとりまとめるものである。

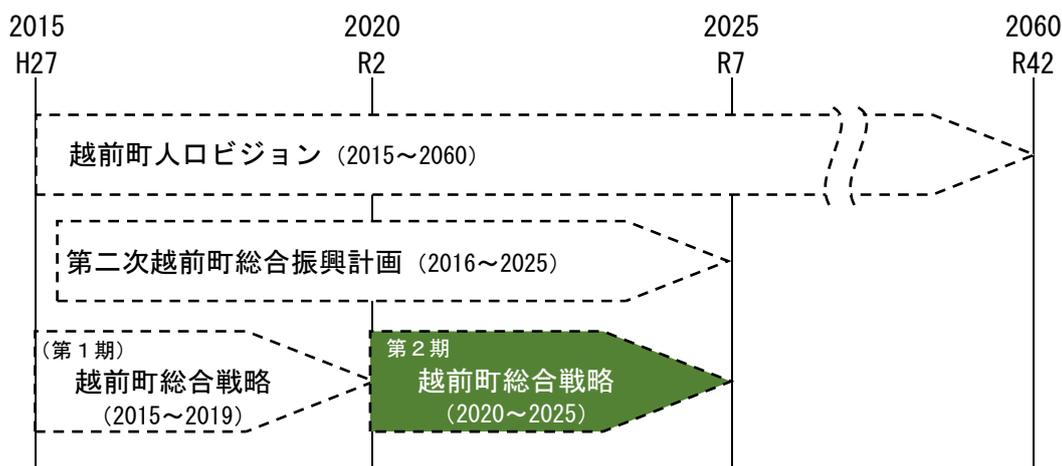
総合戦略の策定にあたっては、国が策定した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策の企画・実行にあたっての基本方針（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視の政策5原則等）及び4つの基本目標等を踏まえ、本町における人口減少と地域経済縮小に対する具体的な施策を位置づけていくものとする。

また、戦略の実効性を発揮するため、PDCAサイクルに基づく進捗管理の体制や方法を確立し、実現に向けた継続的な計画→実行→見直し→改善の取組を進めていくものとする。

## 2) 計画期間

本戦略の計画期間は、2020（令和2）年度～2025（令和7）年度の6か年とする。

【総合戦略の計画期間（人口ビジョン及び第二次総合振興計画との関係）】

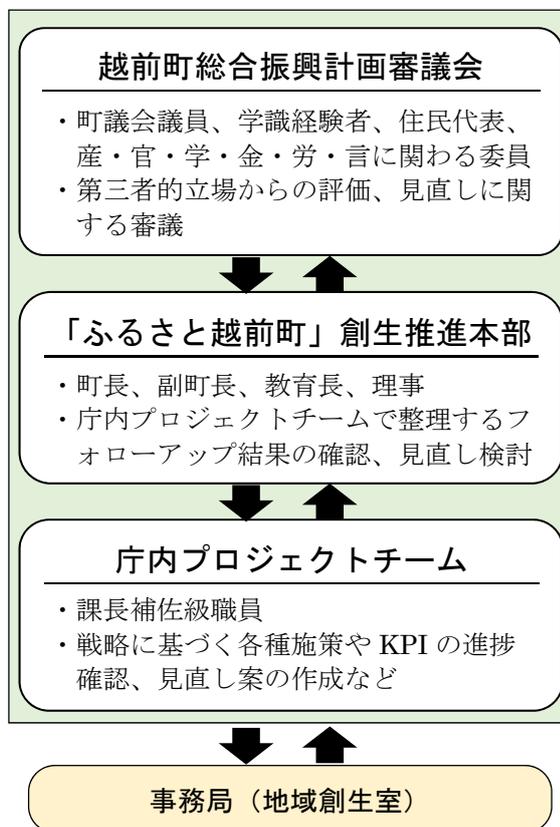


## 3) 戦略の策定・推進・フォローアップ体制

本戦略の策定にあたっては、町議会議員、学識経験者、住民代表、産・学・官・金・労・言の各委員から構成される「越前町総合振興計画審議会」をはじめ、庁内組織である「ふるさと越前町創生推進本部」及び「庁内プロジェクトチーム」が中心となり、本戦略に基づく各種施策・事業のとりまとめを実施した。

本戦略の推進及び評価・検証にあたっては、審議会メンバーから構成するフォローアップ会議を年一回のペースで開催し、本戦略に位置づける具体的施策及び重要業績評価指標（KPI）の進捗を踏まえて施策やKPIの継続的な見直しを行うことで、PDCAマネジメントサイクルを機能させるものとする。

【総合戦略の策定体制】





## 2 まちづくりに対する町民の意識

### 1) 町民意識調査結果

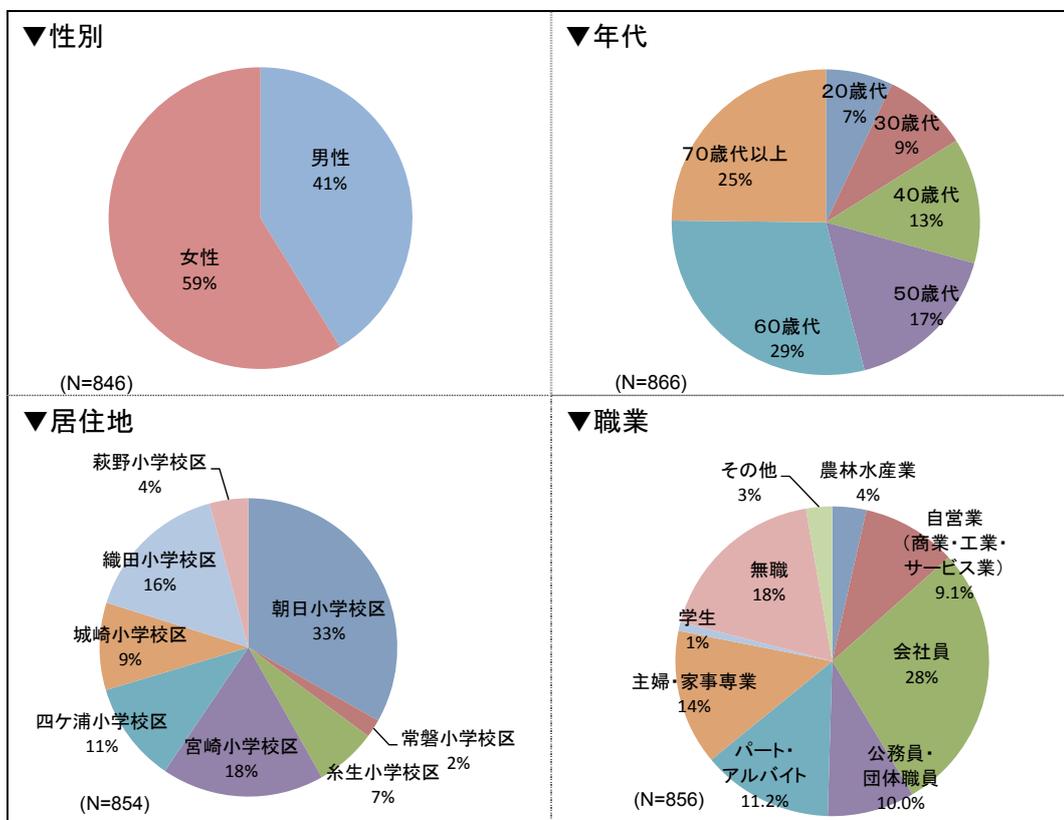
#### (1) 調査の概要

- ・調査目的：越前町人口ビジョン改訂版、第2期越前町総合戦略の策定に向けて、本町での定住意向や各種施策への満足度、町民と行政の協働等に対する町民意識などを把握し、より良い町政を展開していくための基礎資料とする。また、前回（2015（平成27）年）、前々回（2010（平成22）年）と比較することにより、町民の意識や施策の評価の変化を把握する。
- ・調査対象：満20歳以上の町民2,500名
- ・抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- ・調査方法：郵送（無記名回収）方式
- ・調査期間：2019（令和元）年8月26日（月）～9月9日（月）
- ・回収数：872票（回収率：34.9%）  
※集計結果の補足：「N」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。  
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合あり。  
地区別の集計では、地区を無回答の方は除いて集計。
- ・回収数：872票（回収率：34.9%）

	配布数	回収数	回収率
今回（R1）	2,500名	872名	34.9%
前回（H27）	2,500名	993名	39.7%
前々回（H22）	2,500名	978名	39.1%

## (2) 主な調査結果

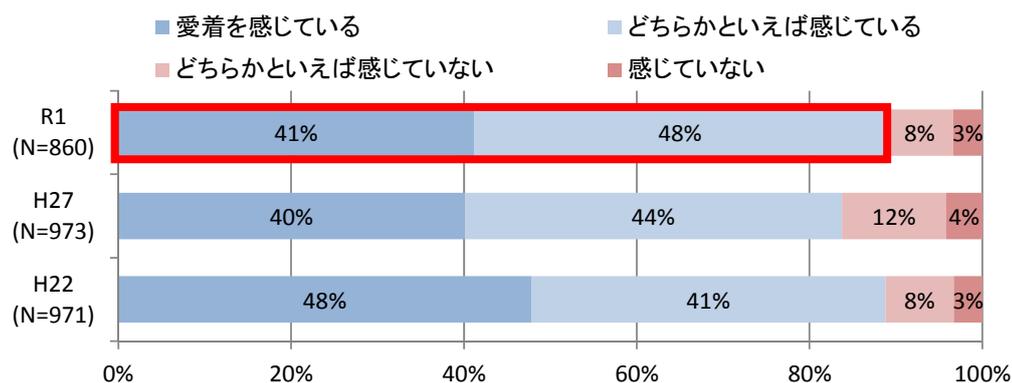
### ①回答者属性



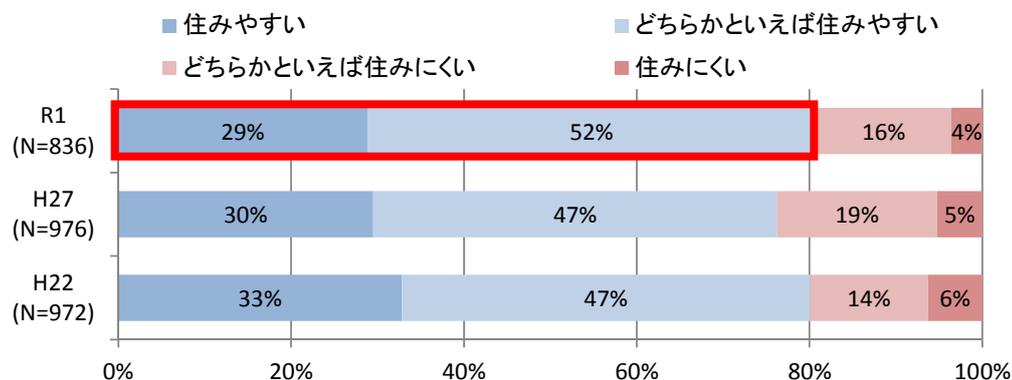
### ③越前町に住むことについて

- 越前町に対する愛着は、「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」の合計が約9割を占め、調査年毎の大きな変動はない。
- 越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が約8割を占め、調査年毎の大きな変動はない。
- 将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が約8割を占め、調査年毎の大きな変動はない。
- 越前町に定住することの魅力については、今回調査では、「自然環境が良い」が約7割、「静かで暮らしやすい」が約6割と高い。「静かで暮らしやすい」は、調査年毎に増加傾向にあり、10年前と比較して17ポイント増加している。  
⇒ 「住みやすい・住み続けたい町」という意識の町民が多く、「静かで暮らしやすい」ことに魅力を感じる人が増えている。

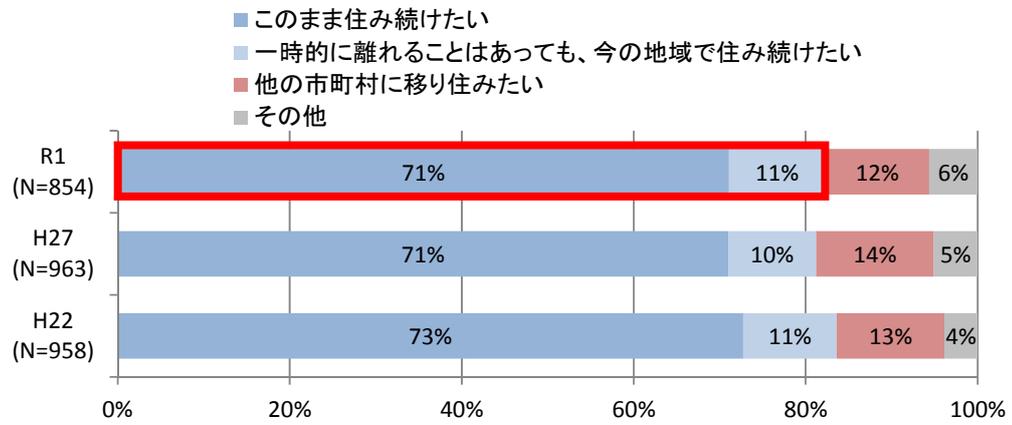
#### ▼越前町に対する愛着



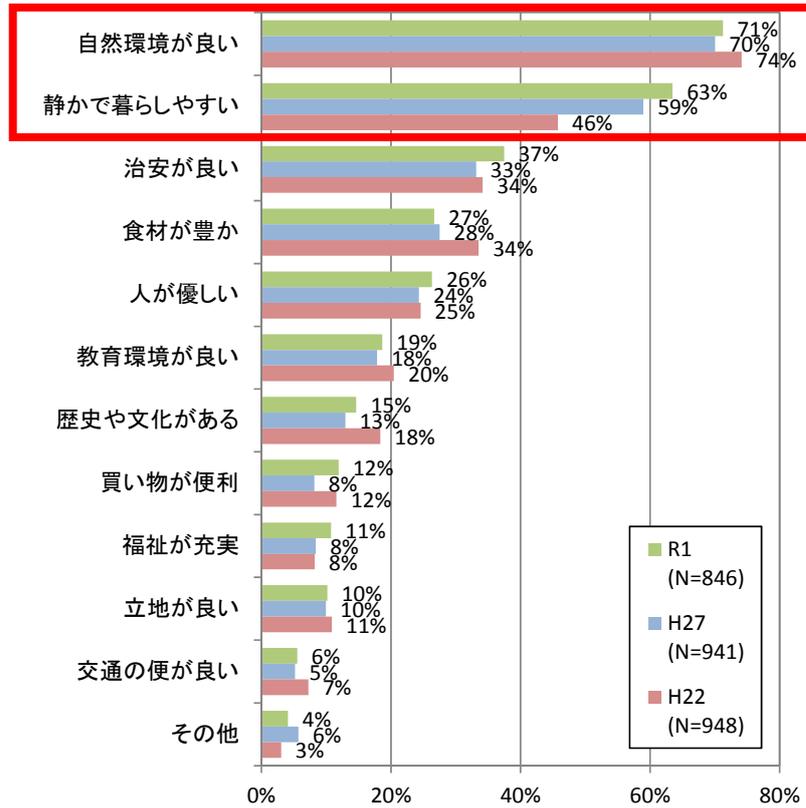
#### ▼越前町の住みやすさに対する意識



▼将来的な定住意向



▼越前町に定住することの魅力

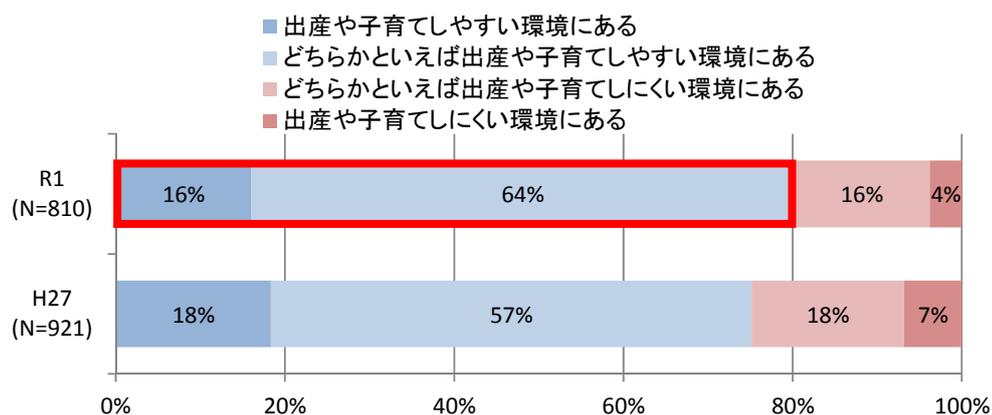


#### ④結婚・出産・子育てについて

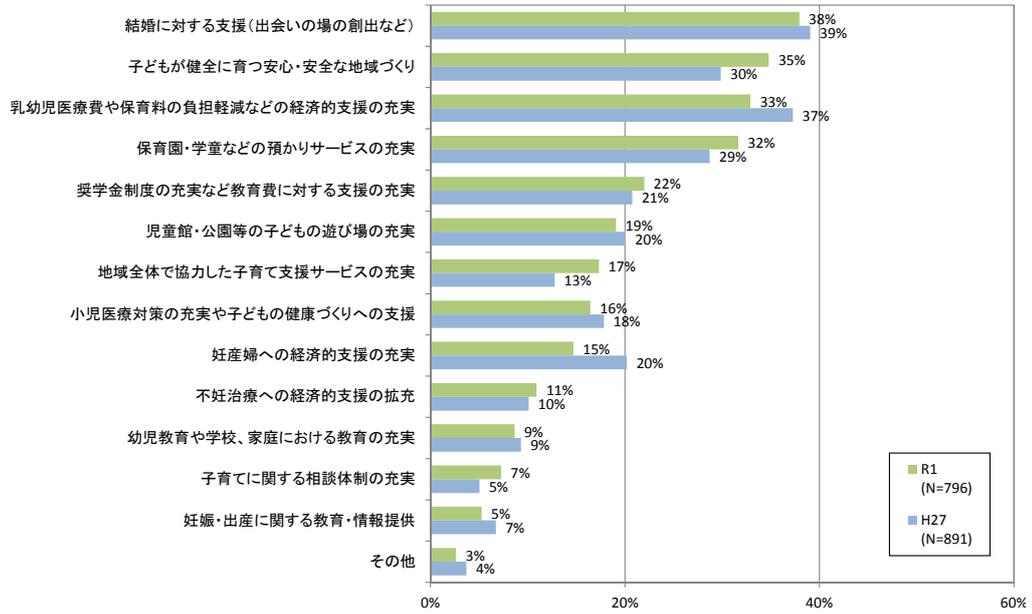
- ▶ 出産や子育て環境について、「出産や子育てしやすい環境にある」「どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある」の合計が約8割を占める。
- ▶ 充実すべき施策として、「結婚に対する支援（出会いの場の創出など）」（38%）、「子どもが健全に育つ安心・安全な地域づくり」（35%）、「乳幼児医療費や保育料の負担軽減などの経済的支援の充実」（33%）、「保育園・学童などの預かりサービスの充実」（32%）が上位に挙げられている。
- ▶ 「越前町通学支援補助制度」については、人口減少対策として「効果があると思う」が約6割を占める。

⇒ **出産や子育てをしやすいと評価している町民が多いが、結婚に対する支援をはじめ、結婚・出産・子育てに関する切れ目のない支援が求められている。**

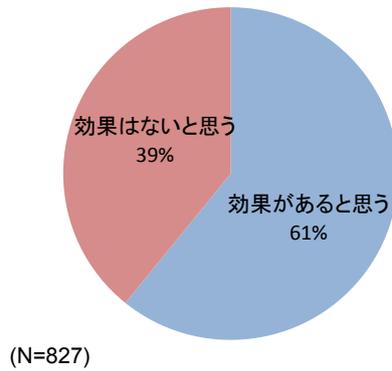
#### ▼出産や子育て環境に関する意識



▼結婚・出産・子育て支援を進める上で充実すべき施策



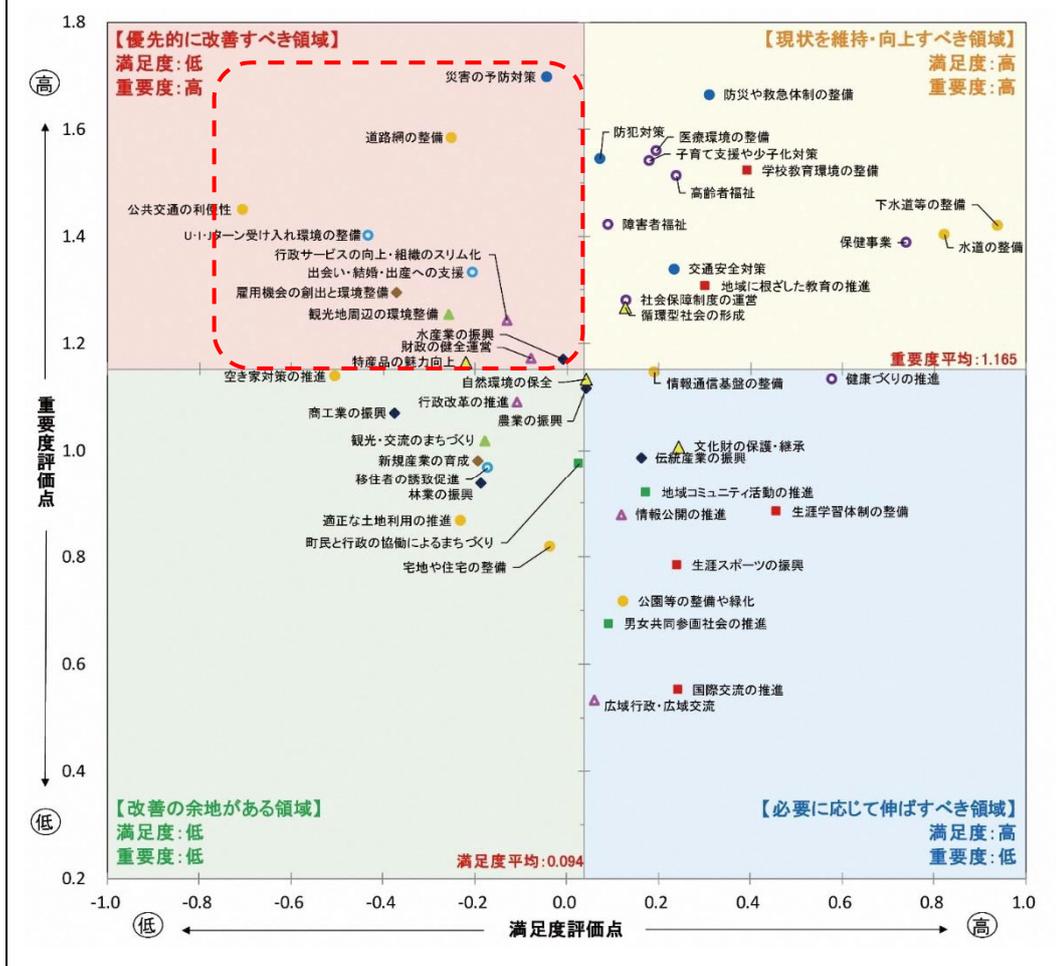
▼人口減少対策としての「越前町通学支援補助制度」の効果



⑤各種施策の満足度・重要度について

- 満足度が低く重要度が高い『優先的に改善すべき』項目は、「災害の予防対策」「道路網の整備」「公共交通の利便性」「U・I・J ターン受け入れ環境の整備」「行政サービスの向上・組織のスリム化」「出会い・結婚・出産への支援」「雇用機会の創出と環境整備」「観光地周辺の環境整備」「水産業の振興」「財政の健全運営」「特産品の魅力向上」となっている。
  - 前回 (H27) 調査の満足度、重要度の上位 10 項目と比較すると、満足度では「防災や救急体制の整備」が前回の 32 位から今回は 7 位に上昇している。重要度では、「道路網の整備」「防犯対策」「公共交通の利便性」が前回から順位が上昇している。
- ⇒ **安全・安心な生活環境や雇用、結婚・出産に関する施策の優先度が高くなっており、国が掲げる「まち・ひと・しごと」の創生に関連する本町独自の施策を、優先的かつ総合的に進めていく必要がある。**

▼各種施策の評価



▼各種施策の評価の順位・前回との比較

<満足度の上位10項目、下位10項目>

順位	項目	満足度	H27順位
1位	下水道等の整備	0.938	1位(→)
2位	水道の整備	0.823	2位(→)
3位	保健事業	0.741	3位(→)
4位	健康づくりの推進	0.577	4位(→)
5位	生涯学習体制の整備	0.459	7位(↑)
6位	学校教育環境の整備	0.394	5位(↓)
7位	防災や救急体制の整備	0.311	32位(↑)
8位	地域に根ざした教育の推進	0.304	6位(↓)
9位	文化財の保護・継承	0.244	13位(↑)
10位	国際交流の推進	0.244	12位(↑)
40位	出会い・結婚・出産への支援	-0.203	—
41位	特産品の魅力向上	-0.219	40位(↓)
42位	適正な土地利用の推進	-0.230	34位(↓)
43位	道路網の整備	-0.249	35位(↓)
44位	観光地周辺の環境整備	-0.256	—
45位	雇用機会の創出と環境整備	-0.370	45位(→)
46位	商工業の振興	-0.374	41位(↓)
47位	U・I・Jターン受け入れ環境の整備	-0.431	—
48位	空き家対策の推進	-0.504	—
49位	公共交通の利便性	-0.705	44位(↓)

<重要度の上位10項目、下位10項目>

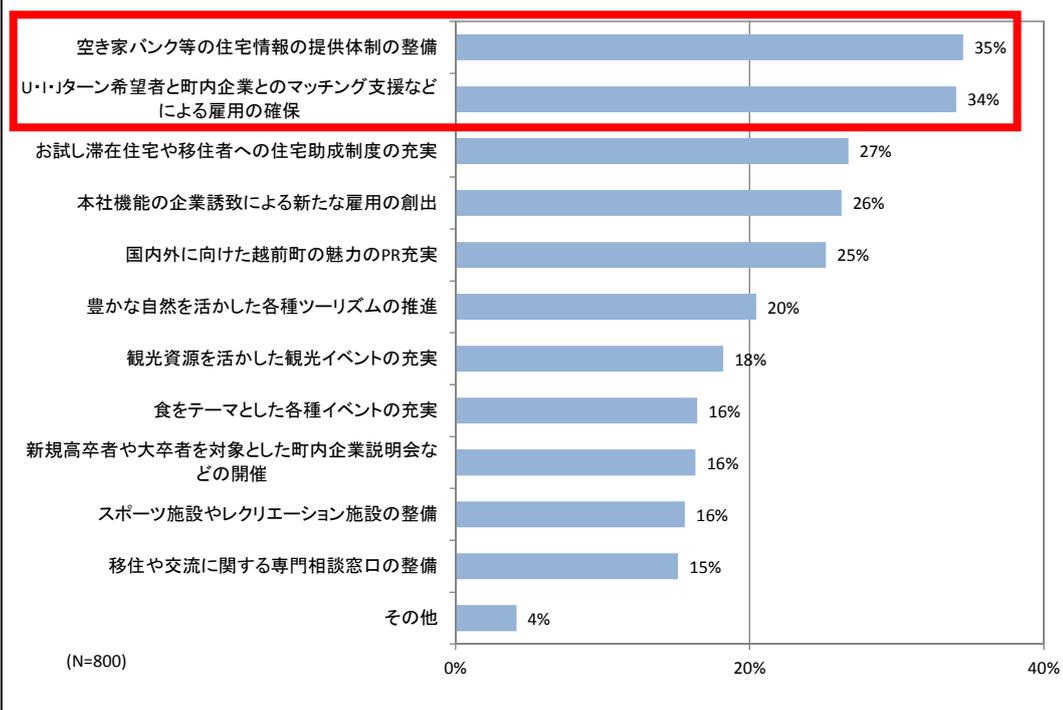
順位	項目	重要度	H27順位
1位	災害の予防対策	1.698	1位(→)
2位	防災や救急体制の整備	1.664	2位(→)
3位	道路網の整備	1.584	6位(↑)
4位	医療環境の整備	1.559	3位(↓)
5位	防犯対策	1.545	8位(↑)
6位	子育て支援や少子化対策	1.540	4位(↓)
7位	学校教育環境の整備	1.522	5位(↓)
8位	高齢者福祉	1.513	7位(↓)
9位	公共交通の利便性	1.450	19位(↑)
10位	障害者福祉	1.422	11位(↑)
40位	地域コミュニティ活動の推進	0.920	42位(↑)
41位	生涯学習体制の整備	0.884	33位(↓)
42位	情報公開の推進	0.879	31位(↓)
43位	適正な土地利用の推進	0.867	40位(↓)
44位	宅地や住宅の整備	0.819	38位(↓)
45位	生涯スポーツの振興	0.784	39位(↓)
46位	公園等の整備や緑化	0.717	43位(↓)
47位	男女共同参画社会の推進	0.675	44位(↓)
48位	国際交流の推進	0.551	45位(↓)
49位	広域行政・広域交流	0.532	27位(↓)

## ⑥人口減少対策の取組について

- ▶ 本町が取り組むべき人口減少対策として、「空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備」「U・I・Jターナー希望者と町内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保」が必要との意見が多い。

⇒ **人口減少対策として、空き家の活用や就業支援が多く求められている。**

### ▼取り組むべき人口減少対策



## 2) 中高生意識調査結果

### (1) 調査の概要

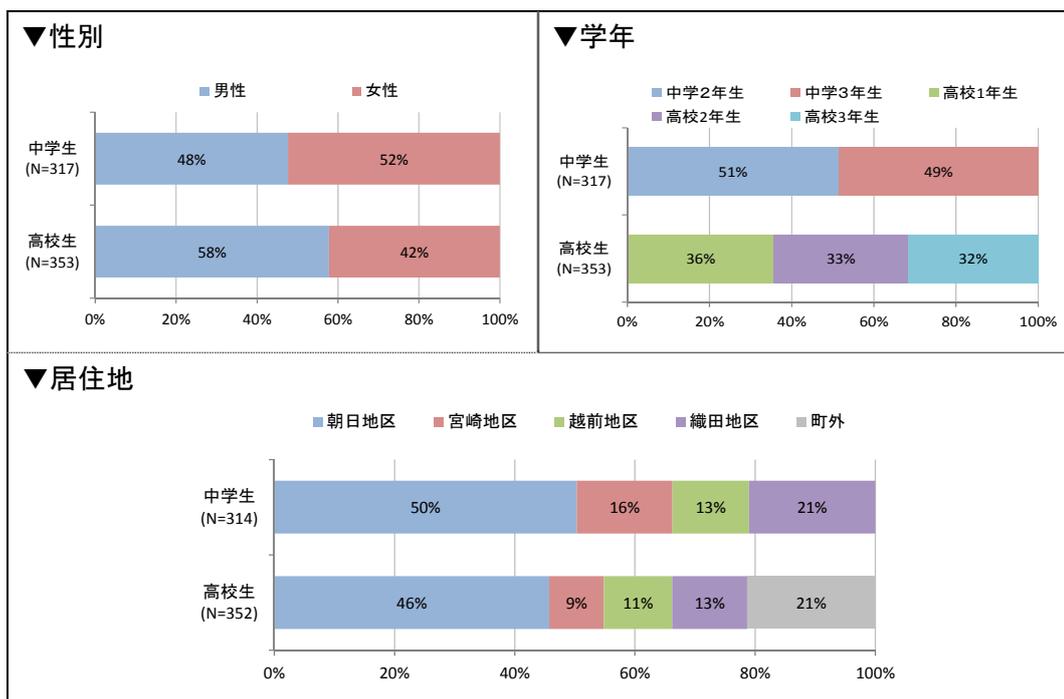
- ・調査目的：将来の越前町を担う中高生が感じている「まちに対する思い」や「まちの課題」を総合戦略の策定や今後のまちづくりに反映させるため。
- ・調査対象：町内の中学生（2年生・3年生）、丹生高校の1～3年生
- ・調査方法：学校における直接配布回収方式
- ・調査時期：2019（令和元）年9月
- ・回収数：680票

	配布先	合計回収数
中学生	朝日中、宮崎中、越前中、織田中の2～3年生	317名
高校生	丹生高校の1～3年生	363名

※集計結果の補足：「N」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。  
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合あり。

### (2) 主な調査結果

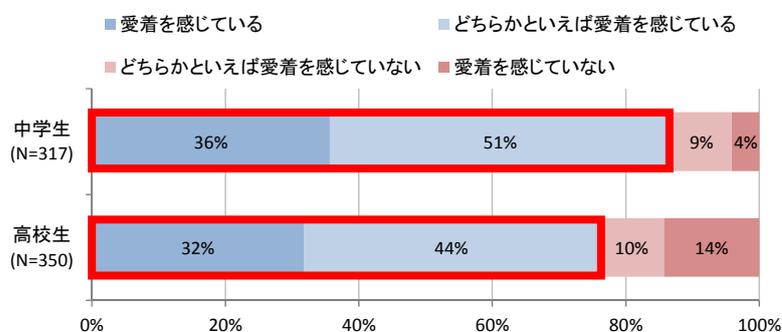
#### ①回答者属性



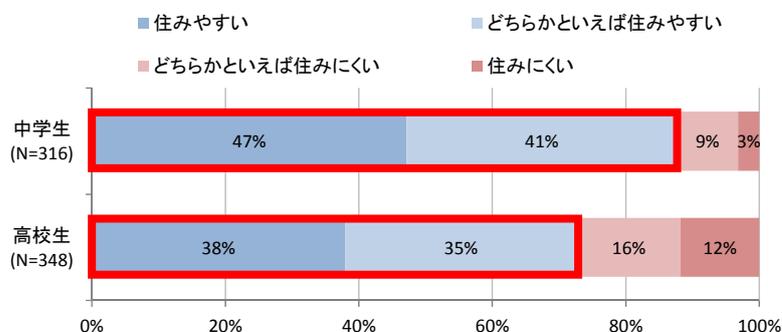
## ②越前町に住むことについて

- ▶ 越前町に対する愛着は、「愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計が、中学生では約9割、高校生では約8割を占める。
  - ▶ 越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が、中学生では約9割、高校生では約7割を占める。
  - ▶ 将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が、中学生では約8割、高校生では約6割を占める。
  - ▶ 越前町の魅力について、中学生、高校生ともに「自然環境の良さ」が7割以上と最も高く、次いで、「静かで暮らしやすい」が4～5割と高い。
  - ▶ 越前町の不便なところ、不安なところについては、中学生では「買い物が不便」「バスなどの交通が不便」「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」を約4割が感じており、高校生では「バスなどの交通が不便」が約6割、「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」が約5割と特に高い。
- ⇒ **越前町への愛着、住みやすさ、定住意向について、中学生は、町民意識調査結果と同様にいずれも評価が高いものの、高校生は、中学生や町民全体よりも評価が低く、公共交通の利便性向上や娯楽施設の充実が求められている。**

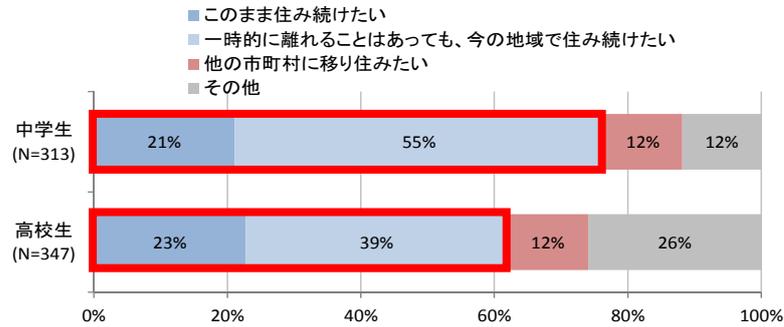
### ▼越前町に対する愛着



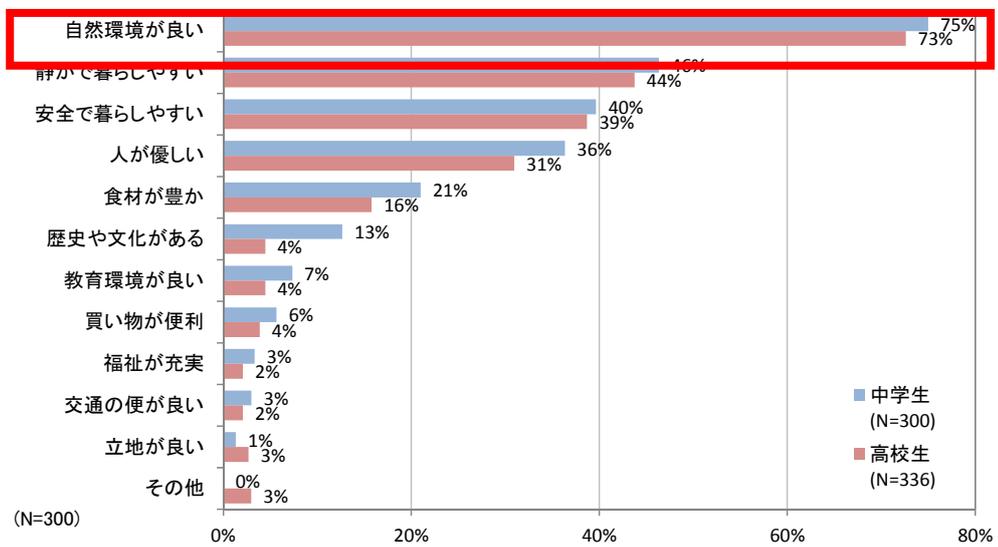
### ▼越前町の住みやすさに対する意識



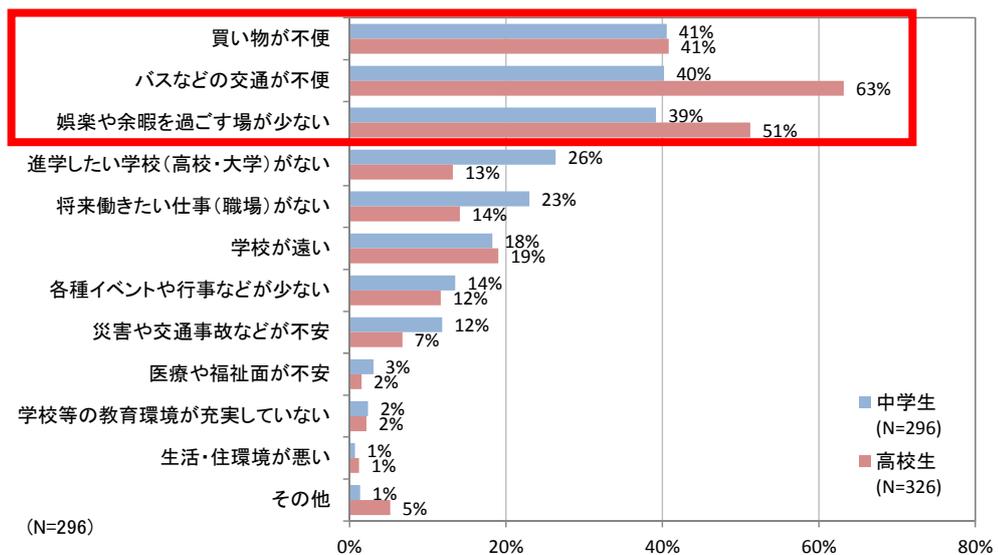
▼将来的な定住意向



▼越前町の魅力



▼越前町の不便なところ、不安なところ

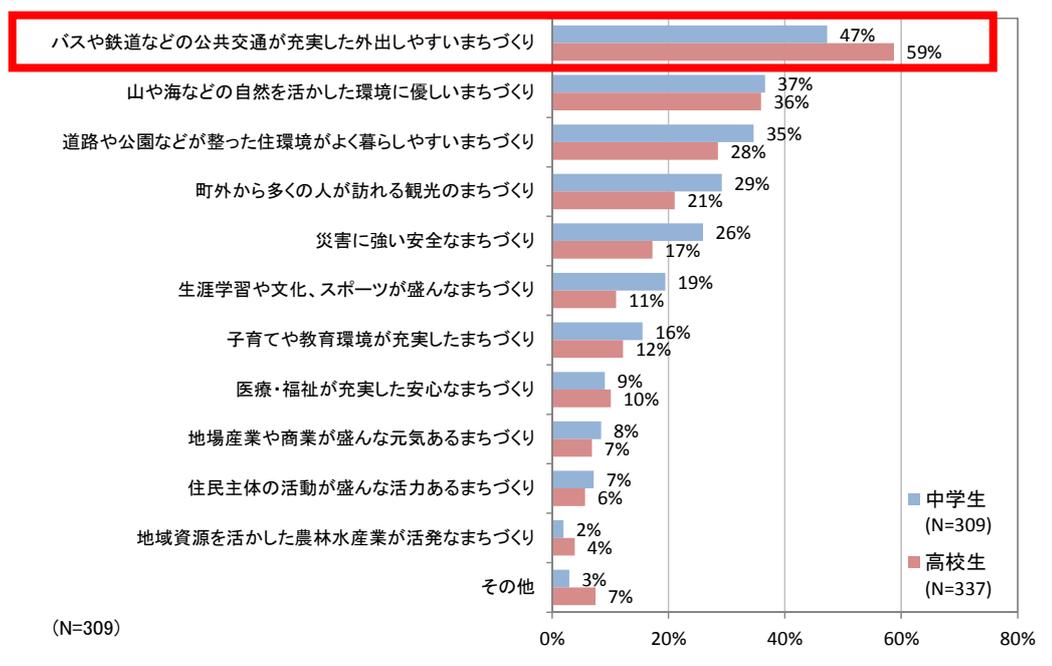


③将来の暮らしやまちづくりなどについて

▶ 重点を置くべきまちづくり施策は、「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が、中学生では約5割、高校生では約6割と最も高い。

⇒ **中高生ともに、公共交通の利便性向上を求めている。**

▼重点を置くべきまちづくり施策

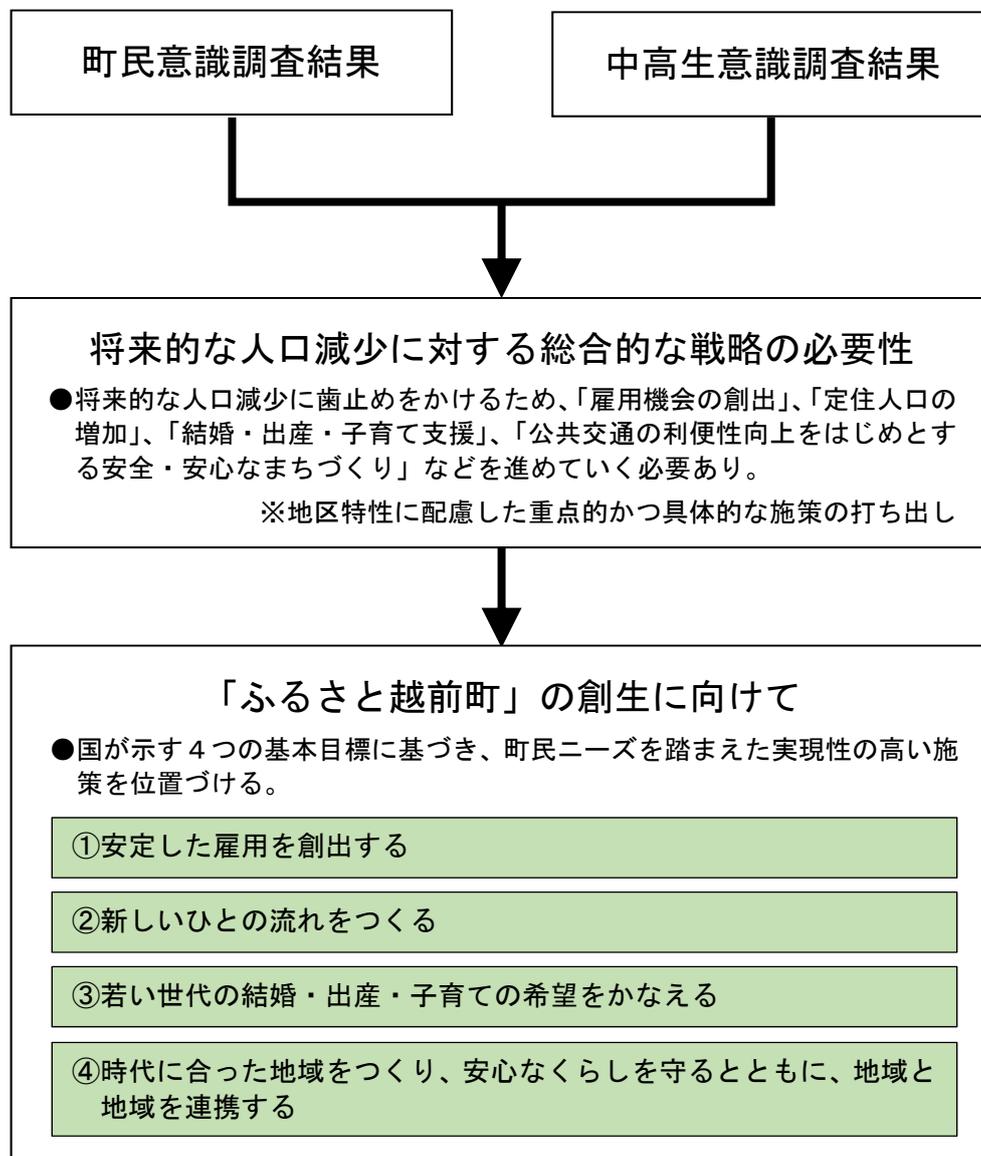


### 3) 町民の意識とまちづくりの方向

町民の意識から、本町は総じて「住みやすく、住み続けたい町」であると言える。

一方で、将来的な人口減少対策として、「雇用機会の創出」、「定住人口の増加」、「結婚・出産・子育て支援」、「公共交通の利便性向上をはじめとする安全・安心なまちづくり」が求められており、これらは国が示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に直結する。このことから、本戦略において町民ニーズを踏まえた実現性の高い施策を位置づけることにより、「ふるさと越前町」の創生につなげていく必要がある。

#### 【町民の意識を踏まえた「ふるさと越前町」の創生】



### 3 「ふるさと越前町」創生に向けた基本目標

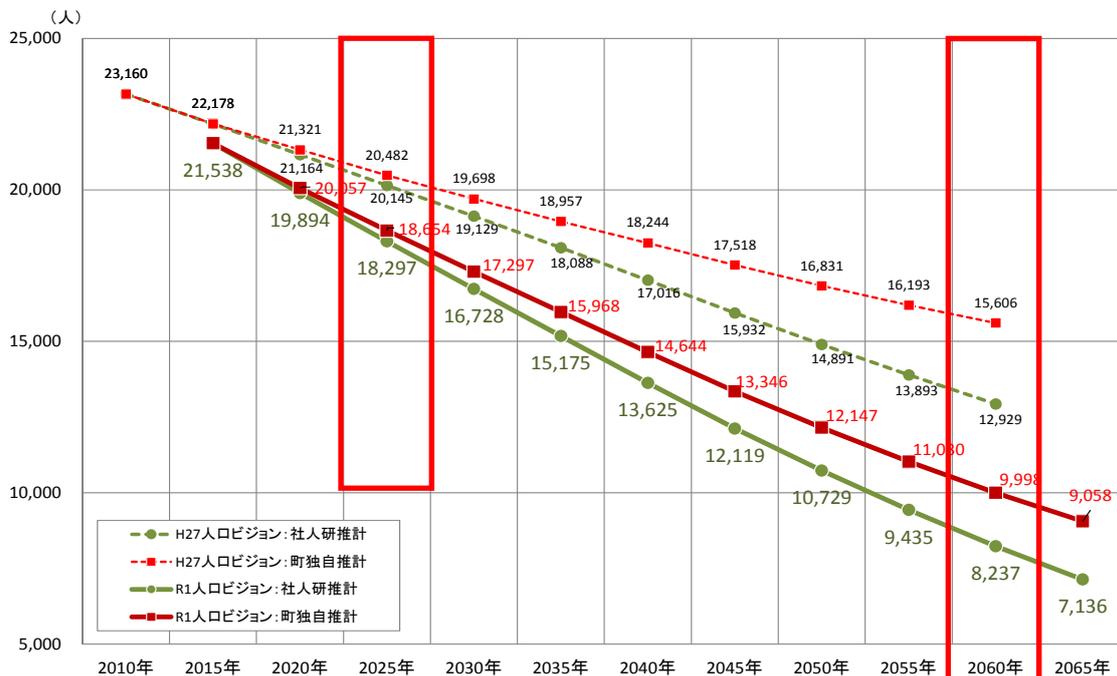
#### 1) 人口の将来展望

越前町人口ビジョンを踏まえ、本町の将来目標人口を次のように設定する。

不可避である人口減少傾向を受け止めながらも、出生数や転入数の増加に寄与する施策・事業を推進することで人口減少を抑制し、2025（令和7）年で19,000人、2060（令和42）年で10,000人の人口維持を目標とする。



【社人研推計と越前町独自推計の比較グラフ】



※将来推計人口の仮定値

- ・社人研推計：「国立社会保障・人口問題研究所」が推計した人口
- ・町独自推計：社人研推計を用いて、合計特殊出生率の向上（2040年に2.07（人口置換水準）まで上昇）に加え、町独自の仮定（「20代夫婦＋子ども1人の世帯」と「30代夫婦＋子ども1人の世帯」が、それぞれ年間3組ずつ本町へ転入）を追加して推計した人口

## 2) 基本目標と重点施策

国が策定した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における4つの基本目標を踏まえ、越前町人口ビジョン（改訂版）の実現と第二次越前町総合振興計画との整合を見据えた4つの「ふるさと越前町」創生戦略（基本目標及び講ずべき施策の方向）を以下に設定する。

### ①観光立町の実現により安定した雇用を創出する

#### 「観光立町」の実現による地域資源を活かした「ふるさと越前町」創生戦略

- ◇本町の自然環境や農林水産業（越前水仙・越前がに・越前がれい）、歴史文化を活かした伝統産業（越前焼）、越前温泉などの多彩な地域資源を活かした「観光立町」を実現し、観光を盛り上げることで地域の新たな雇用創出を図る。
- ◇地域産業の担い手となる人材の掘り起こしや育成を推進するとともに、女性、高齢者、障害者、外国人など、誰もが活躍できる地域社会を創出する。

### ②新しいひとの流れをつくる

#### 定住人口の確保・交流人口の創出による「ふるさと越前町」創生戦略

- ◇本町が誇る、自然や歴史・伝統、文化などの魅力を磨き、大都市圏からの定住人口・観光等による交流人口の流れを創り、「しごと」や「まち」との好循環を図る。
- ◇将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出、拡大を図る。

### ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 結婚・出産・子育ての総合的な施策展開による「ふるさと越前町」創生戦略

- ◇本町の将来を担う若い世代やその子どもたちを育むため、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境を創出する。
- ◇子どもたちが地域の中でしっかりと育つよう、良質な教育環境づくりに取り組む。

### ④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 安全・安心な生活環境の充実による「ふるさと越前町」創生戦略

- ◇本町の「しごと」と「ひと」の好循環を支える安全・安心な「まち」づくりを進める。
- ◇生活環境の充実にあたっては、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえ、持続可能な共生社会を目指すとともに、地域社会や産業、医療、教育などの様々な分野において技術革新の成果を取り入れる。

総合戦略の推進にあたっては、SDGsの理念に沿って、市民や地域団体、NPO、企業などの多様な主体と連携・分担を行い、社会・経済・環境に関わる様々な課題を、総合的な視点をもって解決する。基本目標とSDGsとの対応については下表のとおりである。



【国連SDGs カラーホイール】

【SDGs（17の目標）の視点に基づく第2期総合戦略の施策体系】

基本目標	SDGs（17の目標）																
	1 貧困	2 飢餓・食料	3 健康・福祉	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 まちづくり	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和と公正	17 パートナーシップ
1 仕事・雇用		●		●	●			●	●			●		●	●		●
2 観光・交流			●	●			●	●	●	●	●	●					
3 結婚・出産・子育て	●	●	●	●	●			●		●	●	●		●	●	●	●
4 安全・安心	●		●			●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●

＜参考＞SDGs（持続可能な開発目標）とは

- ・2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- ・17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう             | 10. 人や国の不平等をなくそう      |
| 2. 飢餓をゼロに              | 11. 住み続けられるまちづくりを     |
| 3. すべての人に健康と福祉を        | 12. つくる責任 つかう責任       |
| 4. 質の高い教育をみんなに         | 13. 気候変動に具体的な対策を      |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう       | 14. 海の豊かさを守ろう         |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に       | 15. 陸の豊かさを守ろう         |
| 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に      |
| 8. 働きがいも経済成長も          | 17. パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう     |                       |

## 【基本目標 1】

### 「観光立町」の実現による地域資源を活かした「ふるさと越前町」創生戦略

#### (1) 重点施策

#### 観光立町を目指した産業振興と観光産業の育成

- 越前がに、越前水仙をはじめとした農林水産業の担い手育成と雇用の創出
- 越前焼などの伝統工芸職人の育成と魅力の発信
- 新規産業の創業支援
- 地域の特産品開発や販路拡大、情報発信 …など

#### (2) 数値目標

目標指標	基準値 (2018 (H30)年度)	→	目標値 (2025 (R7)年度)
越前水仙の出荷額	2,500 万円/年	→	4,300 万円/年
漁業生産額	2,530 百万円/年	→	2,656 百万円/年
越前焼生産額	150 百万円/年	→	200 百万円/年
学生等 U・I・J ターン数	6 人/年	→	12 人/年

## 【基本目標 2】

### 定住人口の確保・交流人口の創出による「ふるさと越前町」創生戦略

#### (1) 重点施策

#### 観光振興による交流人口の拡大

- 地域の魅力創出や新たな誘客戦略の展開
- 移住者支援の充実

#### 新たな地域公共交通の仕組みづくり

- コミュニティバス「フレンドリー号」、福鉄バス、京福バスの新たな公共交通の仕組みづくり
- 高校生に対する通学助成事業 …など

#### (2) 数値目標

目標指標	基準値 (2018 (H30)年度)	→	目標値 (2025 (R7)年度)
観光入込客数	224.8 万人/年	→	300 万人/年
コミュニティバス 1 便あたりの利用者数 (デマンド)	1.7 人/便・年	→	3.5 人/便・年
転出者数 - 転入者数 (1~12月)	172 人/年	→	100 人/年

### 【基本目標3】

#### 結婚・出産・子育ての総合的な施策展開による「ふるさと越前町」創生戦略

##### (1) 重点施策

##### 結婚から育児まで切れ目のない支援の充実

- 妊娠・出産・子育ての相談支援の充実
- 住民に開けた子育て世代包括支援センター事業の推進
- 地場産食材使用、食育の推進 …など

##### (2) 数値目標

目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
出生数 (1~12月)	139 人/年	→	130 人/年
結婚祝品事業件数	28 件/年	→	32 件/年

### 【基本目標4】

#### 安全・安心な生活環境の充実による「ふるさと越前町」創生戦略

##### (1) 重点施策

##### 災害に対する備えの充実

- 河川改修や急傾斜地崩壊対策、道路防災等の促進
- 自主防災組織の育成支援
- ハザードマップの周知・活用 …など

##### (2) 数値目標

目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
自主防災組織数 (累積)	62 団体	→	120 団体
防災士数 (累積)	98 人	→	160 人

※[新]は新規の施策・事業

■は重点施策の数値目標

## 1) 「観光立町」の実現による地域資源を活かした 「ふるさと越前町」創生戦略

### (1) 地域資源と共生する産業振興

#### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
①農業の振興 	a) 認定農業者及び集落営農組織の育成・支援 ○地域の担い手育成支援 （集落営農組織の法人化、新規就農者支援、経営改善計画認定による農業経営支援等） ○認定農業者の安定した農業の総合的な指導の推進	農林水産課
	b) 農業生産基盤の継続的な整備 ○国県補助事業を活用した効果的な農業生産基盤整備 ○持続的な農村基盤向上の推進 ○電気柵他新たな防除対策資材（ネット柵）を導入した広域的かつ効果的な有害獣防除対策	
	c) 振興作物の産地化・ブランド化 ○水田園芸作物助成事業及び越前水仙安定生産支援事業への重点的な取り組み ○県・JAとの連携強化による特定作物のトップブランド化	
	d) 地産地消の推進 （消費者から選ばれる産地づくり） ○栽培日誌等による農林水産物の安全・安心確保の推進 ○継続的に学校給食等における地産地消の推進や家庭や地域と連携した食育の実施	
	e) クリーン農業の推進 ○継続的な環境調和型農業の推進	

施策区分	施策・事業	担当
<p>②林業の振興</p> 	<p>a) 森づくりを担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就業者、森林施業士養成経費の助成</li> <li>○作業道開設技術、高性能林業機械（オペレーター）研修会等参加への支援</li> </ul> <p>b) 森林資源の活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集落全体（コミュニティ）での施業集約化、木材（間伐材、主伐材）を一体的な管理による効率的な出荷体制の整備</li> <li>○森林の公益的機能維持のための間伐促進、間伐材搬出・運搬経費等の助成</li> </ul> <p>c) 森林環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育等の施業が必要となる森林の現況調査や施業実施区域の明確化</li> <li>○作業路等の整備、雪起し、下刈、除間伐、抜き伐り、枝打ちの実施</li> </ul>	農林水産課
<p>③水産業の振興</p> 	<p>a) 漁業後継者・担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海の担い手・漁業の担い手育成推進事業の実施</li> </ul> <p>b) 効率的かつ安定した漁業経営の構築</p> <p>c) 漁業生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町管理漁港の役割の検討、効果的な整備の促進</li> <li>○採算性、費用対効果等を検討した高度衛生管理型施設の導入検討</li> </ul> <p>d) 水産資源の増加と漁場環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的な水産環境整備事業（海底耕耘）・浅海漁場改善事業（入網ゴミ等処分）・漁礁整備事業（県営事業）の実施</li> </ul> <p>e) 地域特性を活かした水産業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「越前がに」「越前がれい」の知名度向上</li> <li>○冷凍技術等の確立による販売形態、流通経路等の検討</li> </ul> <p>f) 漁業就労環境の整備 <b>[新]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漁船上架施設の整備（越前漁港厨地係）</li> <li>○漁船維持管理作業の省力化</li> <li>○ランニングコストの削減による漁業所得の向上</li> </ul>	農林水産課

施策区分	施策・事業	担当
<p data-bbox="256 322 456 353">④商工業の振興</p> 	<p data-bbox="542 322 1166 1144"> a) 空き店舗活用事業  ○新規出店者による空き店舗活用への補助  b) 異業種や産学官との連携強化による新技術・新製品開発推進事業  ○ふくい産業支援センターなど関係機関と連携  ○「福井発！ビジネスプランコンテスト(学生の部)」に応募したプランの実用化  c) 先端設備等導入促進事業[新]  ○町商工会や金融機関等関係機関と連携した中小企業の先端設備等導入計画の策定支援と認定の推進  d) 後継者育成支援事業[新]  ○町内事業者の後継者の育成・確保  ○新規の事業後継者雇用にかかる経費の助成  e) 後継者マッチング事業[新]  ○町・商工会による新規創業者と事業継承希望者のマッチングシステムの構築  f) 創業・第二創業促進支援事業[新]  ○町内での新規創業・第二創業者対象の費用補助  g) 地域商店街環境整備事業[新]  ○地域に密着した商業空間の整備、拠点施設の整備 </p>	<p data-bbox="1198 322 1345 398">商工観光課 就労支援室</p>
<p data-bbox="256 1158 485 1189">⑤伝統産業の振興</p> 	<p data-bbox="542 1158 1166 1758"> a) 越前焼担い手育成支援事業  ○ものづくりの里プロジェクト事業による伝統工芸職人塾の開催  ○越前焼技能者養成支援  ○越前焼担い手育成  ○越前焼職人自立支援  b) 産地が一体となった取り組みの推進[新]  ○産地が一体となった産地振興に向けた環境整備  c) 越前焼産地生産性向上支援事業[新]  ○越前焼の生産性革命への支援  d) 越前焼産地を魅力ある稼ぐ産地への転換[新]  ○魅力ある稼ぐ越前焼産業への転換  ○国内における情報発信の強化  ○越前焼産地のブランド力の強化 </p>	<p data-bbox="1198 1158 1345 1234">商工観光課 就労支援室</p>

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
①農業の振興	農業の担い手の数 ○認定農業者や集落営農組織数	47 経営体	→	50 経営体
	担い手への農地集積率 ○農地面積に占める担い手への農地集積面積の割合	53%	→	80%
	耕作放棄地の面積 ○過去1年間以上作物を作付けせず、この数年間に再び作付けする意向のない土地	3.3ha	→	3 ha
	越前水仙の年間出荷本数	57 万本/年	→	100 万本/年
	越前水仙の年間出荷額	2,500 万円/年	→	4,300 万円/年
	地場産食材の使用率 ○学校給食における町地場産食材使用率	47.6%	→	54%
	環境調和型農業取組者数 ○化学肥料・農薬の使用低減による環境負荷の軽減に配慮した農業を行う生産者の人数	14 人/年	→	18 人/年
②林業の振興	林業施業士数 ○新規林業就業者、森林施業士、施業プランナー	8 人	→	10 人
	コミュニティ林業の取組数 ○丹生郡森林組合のコミュニティ林業の取組数	7 集落	→	10 集落
	間伐材の搬出量 ○丹生郡森林組合の年間搬出材積	8,693 m <sup>3</sup> /年	→	6,000 m <sup>3</sup> /年
③水産業の振興	新規漁業就業者数 ○漁業体験者及び水産カレッジ入校者数	9 人	→	15 人
	漁業生産額 ○越前町漁業年間取扱額	2,530 百万円/年	→	2,656 百万円/年
	漁業生産量 ○越前町漁業年間取扱量	2,984t/年	→	4,000t/年

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
④商工業の 振興	空き店舗活用事業による新規支援件数 ○空き店舗活用事業補助金を利用し、町内において新しく出店した件数 (事業開始(H27)からの累積件数)	5 件	→	12 件
	新技術・新製品開発件数 ○異業種や産学官との連携強化により新技術・新製品を開発した件数 (事業開始(H27)からの累積件数)	1 件	→	6 件
	中小企業の先端設備等導入計画の策定及び認定支援件数 ○生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の計画期間3年間(H30~R2)に10件程度の認定を目指す (事業開始(H30)からの累積件数)	4 件	→	10 件
	後継者育成支援事業による支援件数 ○後継者育成支援事業を利用し、新規に後継者を雇用した件数	—	→	5 件
	後継者マッチング事業によるマッチング件数 ○後継者マッチング事業により、創業希望者と事業承継希望事業者をマッチングした件数	—	→	5 件
	創業・第二創業促進支援事業による支援件数 ○創業・第二創業促進支援事業を利用し、創業及び第二創業した件数	—	→	5 件
	西田中商店地区の年間売上高	7 億円/年	→	7.5 億円/年
	西田中商店地区の店舗数	25 件/年	→	28 件/年
⑤伝統産業 の振興	伝統工芸職人塾生数 ○職人塾の養成期間を2年と定め、定員4名に対し毎年2名を確保 (事業開始(H27)からの累積数)	5 人	→	19 人
	伝統工芸職人塾卒業生の町内での定着数 ○職人塾修了後、町内に定着し窯元として自立する人数 (事業開始(H27)からの累積数)	1 人	→	17 人
	越前焼生産額 ○産地が一体となった各種事業の展開及び生産性革命による年間生産額の増	150 百万円/年	→	200 百万円/年
	越前陶芸村への年間観光客入込数	29.9 万人/年	→	34.0 万人/年

## (2) 雇用機会の創出

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①新規産業の育成</b> 	a) 起業・創業促進支援事業奨励金制度 ○町内での新規起業・創業者への支援 b) 創業支援制度説明会や創業セミナーの開催 <b>[新]</b> ○商工会との連携による新規創業希望者や創業初心者、後継者や第二創業者に対する創業支援制度説明会やセミナーの開催	商工観光課
<b>②雇用機会創出と就業環境整備</b> 	a) 新規就労（農・林・水・窯・観）希望者の受け入れ体制の整備 ○カレッジ制度の活用 ○各種フェアでのリクルート ○各種カレッジ研修生専用住宅支援 ○新たな担い手を確保するための資格・技能習得支援 b) 新規就業者支援システム整備事業の推進 c) 求職者支援事業 ○ハローワークと連携した雇用情報の提供など求職者への支援 d) 女性再就職支援 <b>[新]</b> ○結婚、出産、育児等で一度退職し再就職を目指す方への支援 e) 町内企業への支援 f) 企業誘致の推進	商工観光課 就労支援室

施策区分	施策・事業	担当
<b>③特産品・越前ブランドの魅力向上</b> 	a) 金融機関、企業等と連携した施策の展開	商工観光課
	b) 特産品情報発信事業[新] ○町の特産品を紹介するパンフレットの作成 ○ホームページ、SNS を活用した情報発信 ○大都市圏メディアや県のアンテナショップを活用した情報発信	
	c) 特産品販路拡大事業[新] ○町や関係団体が行う出向宣伝等での積極的な PR ○特産品を取り扱う事業所等と連携した販路拡大	
	d) 「越前温泉」魅力向上事業[新] ○越前温泉振興協議会（仮称）の設立 ○「越前温泉」のブランド力向上に向けた活動の促進、地域団体商標登録 ○越前温泉の認知度向上のための啓蒙・宣伝 ○越前温泉に関連したお土産品の開発等	
	e) 越前がにのブランド力強化 ○越前がにタグ購入補助 ○越前がに「極」越前焼タグ製作 ○越前がにのブランド化 ○越前水産ブランド PR 活動への参加	農林水産課

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①新規産業の育成	起業・創業支援事業による支援件数	5 件/年	→	2 件/年
	説明会や創業セミナーの開催件数	0 件/年	→	1 件/年
②雇用機会創出と就労環境整備	就労（農・林・水・窯・観）希望者受入数 ○5職種×1人	3 人/年	→	1 人/年
	ふるさと就職支援センター登録者数	5 人/年	→	5 人/年
	女性再就職者数 ○(戸籍届出数)213 件×9.8%(離職者率)×48.5%(就職希望者率)×50%(補正率)	—	→	12 人
	起業・創業者への利子補給件数 (事業開始(H27)からの累積数)	11 件	→	17 件
	企業誘致数 (事業開始(H27)からの累積数)	1 件	→	2 件
③特産品・越前ブランドの魅力向上	特産品の PR 活動の実施回数 ○特産品を利用して出向宣伝を行った回数	11 回/年	→	15 回/年
	町内公共温泉施設への入込客数	24.2 万人/年	→	30.0 万人/年

## 2) 定住人口の確保・交流人口の創出による

### 「ふるさと越前町」創生戦略

#### (1) 移住・定住促進に向けた良質な住環境・交通環境の整備

##### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①宅地・住宅の整備</b> 	a) 多世帯同居・近居住まい推進事業 ○多世帯同居のための住宅リフォーム支援 ○多世帯近居に繋がる住宅取得支援	定住促進課
	b) 町営住宅長寿命化推進事業 ○長寿命化計画に基づく町営住宅の計画的な改修	
	c) 移住者用住宅事業[新] ○移住者の定住に向けた町営住宅の目的外使用 (公営住宅地域対応活用制度を活用)	
<b>②総合的な空き家対策の推進</b> 	a) 空き家情報バンク登録促進事業 ○空き家情報バンクの登録促進 ○空き家所有者等への制度の周知 ○空き家相談会及び空き家セミナーの実施 ○空き家活用希望者と所有者とのマッチング事業の実施	定住促進課
	b) 空き家購入・リフォーム補助事業 ○登録物件の購入・リフォームに対する助成対象の拡充	
	c) 空き家等を活用した地域活動支援事業 ○登録物件を活用した地域貢献活動に対しての改修費の補助	
	d) 空き家除却支援事業 ○所有者等が老朽危険空き家(特定空き家等及び不良住宅)を解体する場合に、除却費用の一部を補助 ○対象を緩和し期限を設け特定空き家予備軍の除却	

施策区分	施策・事業	担当
<p>③公共交通の充実</p> 	<p>a) 新たな公共交通のしくみづくり ○コミュニティバス、路線バスを総合的に捉えた地区巡回ルートへのデマンドタクシーへの移行</p> <p>b) 高校生通学助成事業 ○通学支援制度の見直し ○保護者の経済的負担軽減による定住促進</p> <p>c) 生活交通路線維持支援事業 ○町民の足である路線バス運行支援と路線の維持・確保</p> <p>d) 路線バス利用促進事業 ○路線バス事業者の運賃収入を確保 ○国庫補助路線の維持のための適切な運賃補助の実施</p>	<p>企画財政課</p>
<p>④移住者・子育て世帯受け入れ環境の整備</p> 	<p>a) UIJ ターン促進事業 ○UIJ ターン就職相談窓口の設置 ○UIJ ターン就職面接会の開催 ○UIJ ターン希望者に対する求人情報の提供 ○移住支援事業の実施</p> <p>b) ふるさと就職促進事業 ○ふるさと越前町しごとの創生懇談会 ○学生への情報提供や事業所体験支援 ○インターンシップの実施 ○丹生高校企業説明会や中学校職場見学支援</p> <p>c) 空き家等住まい支援事業の推進</p> <p>d) 住まい準備支援[新] ○登録物件の購入・賃借に必要な引越し料金や仲介手数料の一部の支援</p> <p>e) 再生・住まいづくり支援[新] (賃貸借契約時の支援) ○登録物件の売買契約・賃貸借契約を締結した場合の固定資産税や家賃の支援(子育て世帯、若年世帯)</p>	<p>就労支援室</p> <p>定住促進課</p>

施策区分	施策・事業	担当
⑤移住者の誘致促進 	a) 移住・定住に関する情報発信の強化 ○移住・定住の相談ができるワンストップ窓口の設置 ○ふるさと回帰フェア、県市町合同セミナー、メディア等での情報発信 ○移住等希望者が必要な情報の収集のためのガイドブックやPR映像、HPの更新	定住促進課
	b) 移住・二地域居住体験施設の活用促進 ○地域住民との交流、受け入れ態勢の構築	
	c) 越前町移住体験ツアー助成事業[新] ○県外在住の方を対象とした移住体験ツアーの開催 ○参加者のツアー参加経費(宿泊費)の一部助成	

【重要業績評価指標 (KPI)】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①宅地・住宅の整備	移住者用住宅入居者退居後の定住数 ○移住者用住宅入居者が退居後に町内に定住した世帯数	—	→	3世帯
	空き家情報バンク延べ登録者数 ○空き家所有者への意向調査で、バンクに登録したいと思っている所有者の数	56件	→	80件
②総合的な空き家対策の推進	移住者・子育て世帯空き家購入・リフォーム補助を受け定住した世帯数 ○補助件数 (計画期間(第1期・第2期)ごとの累積数)	8世帯	→	8世帯
	地域活動に資する空き家改修数 ○改修補助件数 (計画期間(第1期・第2期)ごとの累積数)	0件	→	2件
	所有者による空き家除却数 ○老朽危険空き家等の除却数	6件/年	→	10件/年

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
③公共交通 の充実	コミュニティバス1便あたりの利用者数(定時定路線) ○コミュニティバス定時定路線全ルートの年間利用者数/年間運行回数	4.5人/便・年	→	7人/便・年
	コミュニティバス1便あたりの利用者数(デマンド) ○コミュニティバスデマンドタクシー全ルートの年間利用者/年間運行回数	1.7人/便・年	→	3.5人/便・年
	越前町通学支援補助制度の効果に対する町民意識の割合 ○町民意識調査における通学支援制度の人口減少対策への効果が「ある」と答えた割合	—	→	70%
	集落カバー率 ○路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーを合わせたカバー率	100%	→	100%
	公共交通利用者数 ○京福バス・福鉄バス・コミュニティバスの年間利用者数の合計	25.5万人/年	→	31.0万人/年
④移住者・子育て世帯受け入れ環境の整備	学生等U・I・Jターン数 ○高卒者見込み数×進学率×県外率×福井県Uターン率×補正率(年間推計Uターン者数12人)	6人/年	→	12人/年
	丹生高等学校企業説明会等事業支援、中学校職場見学等事業支援など ○丹生高等学校企業説明会等事業支援 1回/年 ○中学校職場見学等事業支援 1回/年 ○企業見学バスツアー開催 1回/年	1回/年	→	1回/年
	家賃等補助を受け定住した世帯数 ○計画期間(第1期・第2期)ごとの累積数)	—	→	5世帯
⑤移住者の誘致促進	移住体験施設の利用日数	162日/年	→	200日/年
	移住体験施設利用者のうち移住・二地域居住実践世帯	0世帯/年	→	2世帯/年
	移住体験ツアー参加者のうち移住世帯	—	→	3世帯

## (2) 地域資源を活かした交流促進

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①観光産業の活性化</b> 	a) 地域の魅力創出・向上 <b>[新]</b> ○観光資源の発掘と磨きあげ ○「越前温泉」の活用 ○越前町DMO版の設立	商工観光課
	b) 観光資源活用の推進 ○着地型観光プログラムの造成 ○温泉スタンプラリーの開催	
	c) 新たな誘客戦略の展開 ○新たなご当地グルメの開発 ○越前温泉郷の魅力向上 ○インバウンド環境の充実 ○ものづくり集積地の特徴を活かしたクラフトツーリズムの拡大 ○教育旅行の受け入れ体制の整備	
	d) 観光ボランティアガイド「越前かたりべの会」の育成 ○おもてなしに関する研修会の開催 (接遇、接客、語学研修など)	
	e) 施設の長寿命化 <b>[新]</b> ○交流拠点施設の長寿命化 ○各施設管理者が適切な維持管理を行うための管理基準の整備 ○施設情報の一元管理(個別施設計画)	
	f) 交通戦略 <b>[新]</b> ○自動運転技術を利用したレンタカー導入の検討 ○二次交通＋着地型観光メニューの実施 ○持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	

施策区分	施策・事業	担当
<p data-bbox="256 322 520 398">②文化財の保護・継承</p> 	<p data-bbox="542 322 1166 1169"> a) 文化財調査研究の推進  ○町内における文化財の悉皆調査の実施  ○調査研究成果の公表  ○大学や学会と連携した調査研究の充実    b) 文化財保護意識の啓発  ○文化歴史館における企画展覧会の継続的な実施  ○「指定文化財を訪ねよう」などの町広報の連載  ○デジタル博物館（HP）における情報集約と発信  ○指定文化財の増加と説明看板の整備  ○学校教育と連動した歴史教育の実践  ○指定文化財所有者への支援    c) 文化歴史館を核としたエコ・ミュージアムの推進  ○文化財的資源のまちづくりへの活用方策の研究  ○調査研究の公開や講座等を通じた越前町の良さの発信  ○文化歴史館・雨田光平記念館のハード、ソフト面での見直し  ○図書・グッズ販売などの充実と、交流ホールの活性化  ○デジタル博物館（HP）の活用と文化財のネットワーク化 </p>	<p data-bbox="1198 322 1345 349">生涯学習課</p>
<p data-bbox="256 1191 520 1218">③国際交流の推進</p> 	<p data-bbox="542 1191 1166 1536"> a) 姉妹・友好都市交流の推進  ○福岡県みやま市との児童交流  ○アメリカ・オーストラリアへの中高生の派遣・招聘    b) 国際交流協会活動の促進  ○広報、チラシ、SNS を使用して各種イベントを周知し、外国人と触れ合う機会を提供    c) 国際交流ボランティアの育成・支援  ○国際交流イベント等へのボランティア参加者の拡大 </p>	<p data-bbox="1198 1191 1345 1218">国際交流室</p>

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度 実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①観光産業 の活性化	観光入込客数 ○観光目的で本町を訪れる年間入込客数	224.8万人/年	→	300万人/年
	着地型観光プログラムの造成件数 ○年間の造成件数	21件/年	→	35件/年
	観光消費額 ○年間の観光消費額	65億円/年	→	70億円/年
	宿泊者数 ○本町への年間宿泊者数	10.6万人/年	→	11.3万人/年
	観光ボランティアガイドの年間活動 件数 ○年間の活動件数	69件/年	→	100件/年
	周遊バス利用者数 ○年間の周遊バス利用者数	1,909人/年	→	2,200人/年
	年間レンタカー助成制度利用者数 ○年間のレンタカー助成制度利用者数	25人/年	→	50人/年
	年間タクシー助成制度利用者数 ○年間のタクシー助成制度利用者数	89人/年	→	100人/年
②文化財の 保護・継承	町指定文化財の総数	106件	→	115件
	織田文化歴史館の年間入館者数	9,651人/年	→	12,000人/年
③国際交流 の推進	姉妹・友好都市交流事業の参加者数 ○みやま市・越前町の児童交流事業の参加者 数（派遣・受入） ○アメリカ・オーストラリアへの派遣・招聘事 業参加者及びホストファミリーの数	398人/年 (2015～2018年累積)	→	600人 (2020～2025年累積)
	国際交流協会実施事業への参加率 ○町の人口に占める国際交流協会実施事業参 加者数の割合（上記事業参加を除く）	2.8%	→	5.0%
	国際交流協会実施事業へのボランテ ィア参加者数 ○国際交流協会実施事業におけるボランティ アとしての参加者数	10人/年	→	15人/年

### 3) 結婚・出産・子育ての総合的な施策展開による

#### 「ふるさと越前町」創生戦略

#### (1) 結婚・出産・子育てしやすい環境づくり

##### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
①結婚・出産しやすい環境と交流機会の創出 	a) 妊婦及び乳幼児の健康診査の推進 ○妊婦の全健康診査の費用助成 ○乳幼児期のきめ細やかな健康診査の実施と健診後フォローの充実	子育て世代包括支援センター
	b) 不妊治療対策の推進 ○体外受精等の特定不妊治療に対する経済的支援	
	c) 妊娠・出産・子育ての相談支援の充実[新] ○関係機関との連携の強化 ○訪問等による顔の見える相談支援の実施 ○傾聴と共感による寄り添った支援	
	d) 住民に開けた子育て世代包括支援センター事業の推進[新] ○啓発事業の推進 ○来庁しやすい窓口の整備 ○住民にみえる事業の推進	
	e) 結婚祝品事業 ○結婚祝い品を支給することにより、若者の定住を促進	福祉課
	f) 縁結び奨励金交付事業 ○独身者に対して結婚のきっかけ作りの支援 ○地域全体での結婚の応援環境の整備	
	g) 若者出会い交流応援事業 ○独身男女の出会い、交流の支援による未婚率の上昇抑制、若者の本町への定住促進	

施策区分	施策・事業	担当
<p>②子育て支援の充実</p> 	<p>a) 多様なニーズに対応した児童福祉、保育サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者の多様なニーズに応じた延長保育、障害児保育、一時預かり保育の実施</li> <li>○公立の認定こども園の検討</li> <li>○放課後児童クラブ等の充実</li> </ul> <p>b) 病児・病後児保育の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○織田病院における病後児保育の実施</li> <li>○ひとり親家庭の利用料補助による経済的支援</li> </ul> <p>c) 保育料に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3子以降の保育料及び副食費を無償化（すくすく保育事業）</li> </ul> <p>d) 地域での子育て支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どものショートステイ、トワイライトステイの実施（子育て支援短期利用事業、児童養護施設に委託）</li> <li>○児童虐待防止のための子育て支援センターなどでの相談業務の充実、保育所との連携など体制を強化</li> </ul>	福祉課
<p>③男女共同参画社会の推進</p> 	<p>a) 審議会等への女性の登用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中・高の各段階に応じたキャリアデザイン教育</li> <li>○講演などの啓発活動による地域におけるワークライフバランス推進</li> </ul> <p>b) 働く場における男女平等の推進（ワークライフバランスの推進など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内における自己啓発や能力開発等の講座やセミナーの実施</li> <li>○企業選出のまちづくり推進員を通じた地元企業へのアプローチ</li> </ul> <p>c) 男女共同参画の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画のつどいの開催</li> <li>○他のイベント会場での啓発活動</li> </ul>	男女共同参画・人権室

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度 実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①結婚・出産しやすい環境と交流機会の創出	3歳児健診受診率 ○母子保健法で定められている3歳児健診の受診率（毎年）	97.4%	→	100%
	出生数（1～12月）	139人/年	→	130人/年
	子育て世代包括支援センター相談件数 ○電話・来所による相談件数	743件/年	→	1,200件/年
	結婚祝品事業件数 ○年間実績	28件/年	→	32件/年
	縁結びお世話人による婚姻数 ○奨励金交付年間実績	0組/年	→	5組/年
②子育て支援の充実	織田病院における病児デイケア利用者数 ○年間延利用者数	175人/年	→	240人/年
③男女共同参画社会の推進	審議会・委員会等の女性委員の割合 ○法令・条例等で定められた教育委員会などの女性委員の割合（年間）	31.3%	→	33%

## (2) 次代を担う人づくり

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
①生涯学習体制の充実 	a) 住民のニーズに対応した学習講座の推進 (身近な学習講座の推進) ○各分館やコミュニティ委員会などの情報交換 ○年齢層やニーズに応じた講座の企画・開催 ○健康チャレンジ事業と連携した心の健康(癒し・リフレッシュ)講座の内容の充実	生涯学習課
	b) 生涯学習・図書館情報提供体制の充実 ○生涯学習センターだよりの発行の検討・見直し ○SNSを利用した情報発信体制の構築	
	c) 芸術・文化活動の促進 ○音楽分野に限らず、普段観ることのできない作品を鑑賞できる機会の創出 ○文化祭や各サークルの活動発表会等への支援 ○文化芸術分野で活躍する児童生徒へ激励金を交付	
	d) 社会教育・文化施設の整備充実 ○子どもから高齢者まで、だれもが利用しやすい環境を維持 ○施設修繕等の早期対応し、長期的な改修計画策定	
	e) 図書館サービスの充実 <b>[新]</b> ○町民のニーズに応える予約・リクエストの強化 ○「My 本棚」など読書推進サービスを実施	

施策区分	施策・事業	担当
<p data-bbox="256 322 520 398">②生涯スポーツの振興</p> 	<p data-bbox="542 322 1166 398">a) 東京オリンピックホッケー競技ホストタウン交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリンピックホッケー競技のキャンプ誘致</li> <li>○オリンピック後も継続した合宿誘致</li> <li>○地元チームとの交流試合・小中高校生対象のクリニック開催を通じた、競技力向上と交流の推進</li> <li>○国際交流イベントの実施</li> </ul> <p data-bbox="542 607 1166 792">b) スポーツ振興助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県大会等の予選会を通過し、北信越以上の大会に出場する場合、または県以上の競技団体で推薦され、代表として北信越以上の大会に出場する選手・監督に交通費、宿泊費の一部を助成</li> </ul> <p data-bbox="542 801 1166 943">c) 全国大会等の誘致推進 <b>[新]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国大会等の誘致</li> <li>○地元チームの競技力向上や、チーム間の交流を深めるとともに、越前町を全国にPR</li> </ul>	<p data-bbox="1189 322 1355 349">スポーツ振興課</p>
<p data-bbox="256 967 520 1043">③学校教育環境の充実</p> 	<p data-bbox="542 967 1166 1115">a) 校内 LAN・ICT の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習用 PC (タブレット)、各教室 PC・大型提示装置・実物投影機、校内 LAN (無線 LAN) の拡充</li> <li>○ICT 支援員の配置</li> </ul> <p data-bbox="542 1124 1166 1240">b) 小中学校トイレ改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町内小中学校屋内運動場トイレを乾式化及び洋式化</li> </ul> <p data-bbox="542 1249 1166 1361">c) 小中学校施設維持補修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設維持補修計画 (毎年更新) による改修・補修</li> </ul> <p data-bbox="542 1370 1166 1447">d) 指導主事配置事業 (中高一貫教育推進体制の充実)</p> <p data-bbox="542 1456 1166 1608">e) 地場産食材使用の推進 <b>[新]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地場産食材使用の推進</li> <li>○関係機関と連携した、学校給食における地場産食材使用の推進</li> </ul> <p data-bbox="542 1617 1166 1832">f) 食育の推進 <b>[新]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食センターでの食育学習の実施</li> <li>○学校・給食センター・生産者との連携</li> <li>○学校給食センター見学受け入れによる「見て・作って・食べる」体験型食育学習の実施</li> <li>○給食交流会での地元生産者との交流</li> </ul>	<p data-bbox="1189 967 1355 994">学校教育課</p>

施策区分	施策・事業	担当
<p>④地域に根ざした教育の推進</p> 	<p>a) スクールカウンセラー設置事業 ○児童・生徒の臨床心理に関して専門的な知識及び経験を有する者を小中学校に配置</p> <p>b) スクールソーシャルワーカー設置事業[新] ○社会福祉等の専門的知識及び経験を有する者を小中学校等へ派遣</p> <p>c) 不登校児童生徒自立支援応援事業[新] ○学校や家庭に教員免許を有する支援員を派遣し、不登校児童生徒等の学校復帰など社会的自立を支援</p> <p>d) 放課後子ども教室・子ども見守り事業 ○放課後の子ども教室は継続して実施しつつ、地域住民もボランティアとして参加を促進 ○各小中学校の PTA をはじめとする地域ボランティアの育成</p> <p>e) 青少年健全育成事業 ○愛護センター鯖丹支所と連携し、補導委員を中心とした定期的なパトロールの継続 ○青少年のインターネットや SNS 被害における対応 ○子ども会やスポーツ少年団への活動補助</p>	<p>学校教育課</p> <p>生涯学習課</p>
<p>⑤丹生高校の育成・支援</p> 	<p>a) 丹生高校の魅力発信[新] ○町内外へ丹生高校の魅力を発信（ホッケー部、野球部、弓道部、写真部） ○丹生高校生部員による小中学生向けの教室（ホッケー・野球・写真）の開催 ○企業版ふるさと納税やふるさと納税サイトを活用したクラウドファンディングによる丹生高校への支援募集</p> <p>b) 地域と連携したとまちづくり活動への参加[新] ○「地域課題探求授業」の推進</p>	<p>地域創生室</p>

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
①生涯学習 体制の充実	文化・芸術活動団体の登録者数 ○町文化協議会の会員数（子ども・大人）	1,650 人	→	1,700 人
	文化芸術活動における全国大会等出 場者数 ○文化芸術活動における全国大会等出場者へ の激励金交付人数	—	→	5 人/年
	図書館における町民 1 人当たりの年 間貸出冊数 ○年間貸出冊数を人口で割った数	5.1 冊/人・年	→	5.2 冊/人・年
②生涯スポ ーツの振興	全国規模などのスポーツ大会への出 場者数	314 人/年	→	330 人/年
③学校教育 環境の充実	校内における ICT の環境整備率 ○越前町 ICT 環境整備計画の実施率 ・児童生徒 1 人 1 台端末整備 ・高速通信環境整備 ・大型提示装置、実物投影機整備	0 %	→	100 %
	屋内運動場トイレの乾式化・洋式化整 備率 ○屋内運動場トイレ様式化の実施率	22 %	→	55 %
	地場産食材の使用率 ○学校給食における町地場産食材使用率	47.6 %	→	54 %
④地域に根 ざした教育 の推進	放課後子ども教室開催回数 ○センター・各分館における放課後子ども教 室の実施回数	334 回/年	→	350 回/年
⑤丹生高校 の育成・支 援	丹生高校の募集定員に対する入学者 の割合	90 % (127 人/141 人)	→	100 %
	丹生高校生の県内大学進学率 (短大・専門学校含む)	77 %	→	80 %
	中高連携型クラス入学者数	20 人/年	→	30 人/年
	地域活動に参加した生徒数 ○地域活動に参加した丹生高校生数（除雪ボ ランティア・町防災訓練参加）	5 人/年	→	全校生徒数 (年間)

#### 4) 安全・安心な生活環境の充実による

#### 「ふるさと越前町」創生戦略

##### (1) 都市基盤・公共施設の充実

###### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①道路網の整備</b> 	a) 国道の改良促進	建設課
	b) 主要地方道・一般県道の改良促進	
	c) 町道の整備	
	d) 除排雪対策の推進	
	e) 安全な通学路の確保	
	f) 消雪施設の新設 <b>[新]</b> ○除雪困難な狭隘区間の消雪施設の新設	
<b>②水道の整備</b> 	a) 簡易水道の統合整備 ○越前北部浄水場・越前南部浄水場の統合	上下水道課
	b) 越前町水道ビジョン策定 <b>[新]</b> ○将来の水需要の検討 ○公営企業会計移行や施設統廃合等を見据えた基本計画の策定	
<b>③下水道等の整備</b> 	a) 下水道整備事業の推進 ○公共下水道事業・集落排水事業における老朽施設の更新 ○処理設備の高度化及びダウンサイジング化	上下水道課
	b) 下水道整備の推進 ○朝日処理区、宮崎・織田処理区の統廃合計画に基づく下水処理区域の見直し及び下水処理施設の統合再編	
	c) 下水道台帳の電子化 ○平面図、管路断面、マンホールなどの詳細データの適正管理	
<b>④情報通信基盤の整備</b> 	a) ケーブルテレビ施設の更新整備 <b>[新]</b> ○4K・8K 放送及び光インターネットサービスに対応したケーブルテレビ施設の更新・維持管理	情報統計室
<b>⑤適正な土地利用の推進</b> 	a) 既存施設を活用した地域活動の推進 ○空き家や有効活用されていない公共施設等を活用した住民主体の地域活動の推進	地域創生室
	b) 都市計画見直し事業 <b>[新]</b> ○都市計画道路の見直し検討 ○用途地域の見直し検討	定住促進課

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
①道路網の 整備	町道の改良済み延長 ○毎年約2kmの改良を実施(累計)	231.9km	→	247km
	消雪施設の新設 ○約900m/箇所(計画～完成 3年間) 約900m×7年間/3年間＝約2,000m	17,066m	→	19,000m
②水道の整 備	水道普及率 ○給水している人口の町内人口に対する割合	99.7%	→	100%
③下水道等 の整備	下水道水洗化率 ○水洗便所等の宅内排水設備を設置し使用し ている人口の処理区域内人口に対する割合	92.7%	→	98.9%
	下水道施設利用率 ○処理水量の割合	56.5%	→	59%
④情報通信 基盤の整備	4K・8K 放送視聴及び光インターネット サービス提供カバー率	55%	→	100%
⑤適正な土 地利用の推 進	既存施設を活用してコミュニティ活 動を実施する集落数	3集落	→	5集落
	居住誘導区域内人口維持 ○朝日、宮崎、織田の各居住誘導区域における 居住人口	4,199人/年	→	4,200人/年

## (2) 暮らしの安全確保

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①災害の予防</b> 	a) 河川改修事業の推進	建設課
	b) 急傾斜地崩壊対策事業の促進	
	c) 砂防事業の推進	
	d) 道路防災事業の促進	
	e) 海岸保全事業の促進 ○茂原海岸部分の新規離岸堤の整備	
<b>②防災・救急体制の充実</b> 	a) 自主防災組織の育成支援 ○自主防災組織の設立、育成 ○町内の防災士によるネットワークの構築	防災安全課
	b) 防災行政無線の整備・運用 ○越前地区の防災行政無線の整備	
	c) 災害時における対策の明確化 ○地域防災計画の改訂 ○各種ハザードマップの更新	
	d) 消防・救急施設の整備・充実 ○鯖江・丹生消防組合と協議しながら、防火水槽・消防ポンプ車を適切な更新時期に計画的に整備	
	e) 防災士の育成支援[新]	
<b>③防犯対策の強化</b> 	a) 防犯対策の推進 ○自主防犯団体の支援・活動促進 ○各連絡協議会の一元化により組織力の強化 ○通学路等に防犯カメラの設置 ○特殊詐欺などの犯罪から高齢者を守るための対策の推進	防災安全課
<b>④交通安全対策の充実</b> 	a) 交通安全教室・交通安全イベントの実施 ○交通安全大会や体験・実践型イベントの開催 ○高齢者・子どもを対象とした交通安全教室の開催 ○高齢運転者の交通事故防止を目的とした教室の開催	防災安全課
	b) 交通安全意識の啓発 ○広報等を活用した交通安全教室に関する情報の周知 ○町民や来訪者を対象とした交通マナーアップ運動の推進	

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度 実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①災害の予 防	天王川改修に伴う環境護岸整備延長 ○天王川改修事業（第2期）の総延長2.0km	1.27km	→	2km
	海岸保全整備延長 ○県が整備した厨・大浜海岸局部改良に引き 続き、茂原海岸部分の新規離岸堤整備	0km	→	0.3km
②防災・救 急体制の充 実	自主防災組織数 ○町内ほぼ全域での設立を目指す	62団体	→	120団体
	防災行政無線個別受信機の設置率 ○個別受信機の全戸設置	75%	→	100%
	防災士数 ○避難所運営のため、小学校区あたり20人 以上の防災士の確保を目指す	98人	→	160人
③防犯対策 の強化	町内における刑法犯罪発生件数 ○刑法犯罪発生件数の最低値	52件/年	→	50件/年
④交通安全 対策の充実	町内における人身事故発生件数 ○2018年度末実績以下に抑制	15人/年	→	15人/年
	町内における交通事故による死者数	0人/年	→	0人/年

### (3) 保健・医療・福祉の充実

#### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①健康づくりの推進</b> 	a) 健康増進意識の啓発 ○生活習慣改善の取り組みに対する支援 ○主体的な健康増進の取り組みに対する支援 ○広報えちぜんを活用した普及啓発	健康保険課
	b) 自殺予防意識の普及啓発 ○健康フェア「心のコーナー」の設置 ○パネル展示やストレスケア講座の実施 ○ゲートキーパーの養成やこころの相談会の実施	
<b>②保健事業の推進</b> 	a) 各種健診体制の充実 ○周知方法の工夫（個人通知、広報、ホームページ等） ○わかりやすい通知内容の工夫 ○未受診者へ受診勧奨	健康保険課
	b) 保健指導の充実 ○特定保健指導、重症化予防のための保健指導等の充実 ○がん検診の精密検査受診勧奨	
	c) 糖尿病性腎症重症化予防 ○糖尿病未治療者や治療中断者への医療機関受診勧奨 ○糖尿病治療中の血糖コントロール不良者や腎機能低下者に対する保健指導の実施	
<b>③医療環境の充実</b> 	a) 指定管理運営事業（織田病院） ○指定管理者制度の継続による良好な病院運営、医師の確保	健康保険課
	b) 医療機器設備等事業 <b>[新]</b> ○電子カルテシステムの更新 ○CT装置の更新	
<b>④高齢者福祉の充実</b> 	a) 生活支援・介護予防の基盤整備に向けた生活支援事業協議体の充実 ○高齢者の生活支援や介護予防サービスの体制整備のため、地域の資源開発や関係者のネットワークの構築 ○定期的な情報共有・連携強化を実施し、その仕組みづくりの検討と実現に向けた課題を整理	健康保険課
	b) 高齢者の生きがいづくりの推進 ○高齢者の就労機会のあるシルバー人材センターや高齢者の活動拠点である老人クラブの活動に対する支援	

施策区分	施策・事業	担当
<p>⑤障がい者福祉の充 実</p> 	<p>a) 地域ぐるみの福祉ネットワークの構築 ○高齢者の見守り体制の地域レベルでの実践（社会福祉協議会、区長、民生委員児童委員、福祉推進員） ○シルバー人材センターや社会福祉協議会との連携によるいきいき教室や外出支援サービス等の継続</p> <p>b) 施設入所者の地域生活への移行 ○地域生活への移行を支援 ○民生委員等より身近な関係機関との連携を踏まえた退所後の支援</p> <p>c) 福祉施設から一般就労への移行等 ○ハローワーク等との連携による雇用者側の障がい者雇用促進活動の実施</p> <p>d) 地域共生社会の実現に向けた取り組み ○手話講座による手話奉仕員の育成 ○手話言語条例の制定により、ろう者とりょう者以外の者が共生できる社会づくりの促進</p> <p>e) 障がい児の健やかな育成支援 ○地域の障がい児、家族への相談事業や町内の放課後等デイサービスの利用促進</p> <p>f) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築 <b>[新]</b> ○精神障がいにも対応した地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築に向けた関係機関の協議会の設置</p>	福祉課
<p>⑥安定した社会保障 制度の確立</p> 	<p>a) 広報等を活用した制度内容の周知や国民健康保険加入者自身の医療費や健康に対する啓発 ○広報やホームページを活用したわかりやすい周知 ○後発医薬品を利用した医療費差額通知の発送</p>	健康保険課

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度 実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①健康づくりの推進	男性肥満者の割合（40～69歳）	34.7%	→	28%
	運動習慣者	25.8%	→	35%
	自殺者死亡率 ○人口10万人あたりの死亡者数	18.2人	→	13.5人
②保健事業の推進	特定健診受診率	36.8%	→	55%
	大腸がん検診受診率	17.9%	→	40%
	特定保健指導実施率	57.1%	→	68%
	透析患者のうち糖尿病性腎症による者	52.3%	→	47.6%
③医療環境の充実	織田病院の外来患者数（1日平均）	173人/日	→	170人/日
④高齢者福祉の充実	要介護認定者数 ○第1号2号の認定者数を合わせた総数	1,110人/年	→	1,240人/年
	要介護認定者の割合 ○第1号被保険者のうち要介護認定された人の町内65歳以上人口に対する割合	15.6%	→	16.5%
⑤障がい者福祉の充実	在宅福祉サービスの利用者数 ○訪問系、日中活動系サービスを利用する障がい者の実人数	149人	→	160人
	就労移行支援事業所の利用者数 ○生活介護、自立訓練等を経て、一般企業へ就労する人数	9人	→	12人
	障がい児通所支援サービス利用者数 ○児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後デイサービス・保育所等訪問支援を利用する障害児の実人数	39人	→	55人
⑥安定した社会保障制度の確立	国民健康保険の1人当たり医療費町給付額 ○給付総額を被保険者数で割って算出した被保険者1人当たりの給付額 (目標値は令和7年見込み額の▲5%)	367,075円/年	→	493,000円/年
	後期高齢者医療制度の1人当たり医療費 ○1人当たりの医療費 (目標は平成30年度福井県の1人当たり医療費実績額の維持)	878,321円/年	→	915,000円/年
	介護保険の1人当たり町給付額 ○町給付総額を第1号被保険者数で割って算出した第1号被保険者1人当たりの給付額	307,417円/年	→	340,000円/年

#### (4) 町民主体のまちづくりの推進

##### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①町民と協働できる まちづくりの推進</b> 	a) 集落支援員による集落支援事業 ○集落巡回、状況把握及び課題分析 ○集落点検の実施 ○集落のあり方についての話し合い ○地域の実情に応じた維持活性化支援	地域創生室
	b) 地域おこし協力隊によるまちづくり事業の展開 ○空き家・空き店舗の活用策の検討・立案・実施 ○移住希望者からの相談、案内 ○地域おこし協力隊による地域課題解決スキームの構築	
	c) 協働体制の強化 ○町民・各種団体・行政の役割分担による協働体制づくり ○NPO・ボランティア団体等の育成・支援	企画財政課
	d) 町民参画の推進 ○政策決定過程への町民参画の推進、女性や若者の参画機会の拡充	
<b>②地域コミュニティの育成</b> 	a) 地域コミュニティ育成事業 ○多世代にわたる地域住民及び団体間の交流 ○地域の自然環境や伝統文化の保存・継承 ○将来を担う若者の活動支援 ○拠点施設の整備・充実	企画財政課 住民サービス室

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度 実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①町民と協働できるまちづくりの推進	限界集落人口 ○越前町人口ビジョンの将来推計人口から算出した人口（各年4月1日現在）	165人/年	→	150人/年
	地域おこし協力隊人数 ○当初値より1人増加	1人/年	→	3人/年
	宝くじ助成事業を活用した地域の活動の助成件数 ○地域活性化センターや市町振興協会等宝くじ助成金を活用した地域の活動助成件数	1件/年	→	3件/年
	町民参加型の施策立案を実施した事業件数 ○施策立案や施策内容の検討、計画立案において、町民を構成員として協議の場を設定した事業の数	0件	→	10件
②地域コミュニティの育成	地域コミュニティ活動の推進に対する町民の満足度 ○町民意識調査における「満足」「やや満足」の合計の割合	—	→	50%
	地域コミュニティ実施事業企画コーディネーターの養成 ○地域コミュニティ活動の充実と推進のためR7までに各コミュニティで1人を養成	0人	→	4人
	地域コミュニティ町民提案型事業の創出 ○地域ボランティアに参加する人材の発掘と人材の育成のためR7までに各コミュニティで1事業実施	0事業	→	4事業

## (5) 豊かな自然資源の保全・継承

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
<b>①自然環境の保全</b> 	a) 多様な自然環境の保全 ○道路等の公共施設の環境美化の実施 ○河岸に漂着したごみの回収処理 ○大気中のダイオキシン類調査、河川・工場排水の水質検査の実施	住民環境課
	b) 不法投棄防止の推進 ○不法投棄防止監視パトロールの実施、啓発看板の設置 ○不法投棄を防止するための監視カメラ等の設置	
<b>②循環型社会の形成</b> 	a) ごみの分別収集体制の充実 ○資源ごみ（紙・雑誌類等）のごみステーション等回収の周知及び分別の徹底	住民環境課
	b) ごみの減量化・再資源化の推進 ○排出ごみを削減し、資源の有効利用・環境負荷の抑制 ○生ごみ処理機購入に対する補助金を交付 ○食べ残しの少ないようなメニューの設定や買い物など一人ひとりの心がけでできる「食べきり運動」を啓発し、食品ロスの削減を推進	
	c) 再生可能エネルギーの普及 ○太陽光発電や太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進の実施	

### 【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018(H30)年度実績)	→	目標値 (2025(R7)年度)
①自然環境の保全	不法投棄廃棄物の処理件数	14件/年	→	5件/年
②循環型社会の形成	エコステーションの箇所数	2箇所	→	5箇所
	1人当たりのごみ排出量（可燃ごみ） ○1日あたり可燃ごみ排出量	468g/日	→	450g/日

## (6) 町民のくらしを支える行財政運営

### 【具体的施策】

施策区分	施策・事業	担当
①行政サービスの向上・組織のスリム化 	a) 公共施設の合理化 ○公の施設の管理運営方針の改定	総務課
	b) 職員定員の適正化 ○現在の行政サービスの維持を見込んだ適正な職員数の管理	
②情報公開の推進 	a) 地域経済分析システム (REASAS) を活用した効果的な施策の立案	地域創生室
③財政の健全運営 	a) 固定資産台帳の公表 <b>[新]</b>	企画財政課
	b) セグメント分析（事業別・施設別） <b>[新]</b> ○財務書類から得られる情報を基に事業別、施設別の分析 ○今後の公共施設等統廃合における課題の把握	
	c) 指定管理者制度に関する PDCA サイクルの実行 ○施設利用者へのアンケート実施による町民ニーズの把握及びサービス向上 ○事業報告書の内容の精査、業務内容に関する指導、調査、指示等の実施	
④広域行政・広域交流の推進    	a) 広域観光の推進 ○越前ブランドを活かした丹南地域を中心とする広域観光の促進	商工観光課
	b) 広域行政の推進	情報統計室 地域創生室

【重要業績評価指標（KPI）】

施策区分	目標指標	基準値 (2018 (H30) 年度 実績)	→	目標値 (2025 (R7) 年度)
①行政サービスの向上 ・組織のスリム化	行政職員数	256 人/年	→	263 人/年
②情報公開の推進	REASAS を活用した施策事業数 ○地域経済分析システム (REASAS) によるデータを活用して施策立案した事業数	—	→	1 事業/年
③財政の健全運営	普通会計財政規模 ○類似団体の平均値	13,696 百万円	→	10,852 百万円
④広域行政・広域交流の推進	年間観光入込客数 ○観光目的で丹南地域 5 市町を訪れる年間の入込客数	733 万人/年	→	800 万人/年
	連携中枢都市圏構成市町の共同実施事業 ○ふくい嶺北連携中枢都市圏連携協約に基づき推進する具体的取組 55 事業のうち本町が参加する事業数	—	→	55 件/年

第2期越前町総合戦略



発行年月：令和2年3月  
発行：越前町  
編集：地域創生室

〒916-0192 丹生郡越前町西田中13-5-1  
TEL：0778-34-8714 FAX：0778-34-1236  
MAIL：sousei@town.echizen.lg.jp